

きべりはむし

第40巻 第2号
2018



「きべりはむし」編集委員会

委員長 中峰 空
編集委員 大谷 剛・近藤伸一・杉本 毅・竹田真木生・内藤親彦

みんなでつなぐ初蝶リレー 2017

久保 弘幸¹⁾

はじめに

すでに5年目を迎えた初蝶リレーであるが、今回も会員内外の方から、多くの方々から情報を頂戴したことに、この場をお借りして、改めて深く謝意を表したい。

初蝶リレーのように、多くの方の目で蝶やその他の昆虫の初見、活動開始確認をおこなう調査はそう多くないだろう。こうした調査は地味なものではないが、地域での観察を継続することは、その地域の生態系を理解するための、ひとつの鍵になるものと思われる。

1. 実施方法

これまでと同様、2月4日（立春）から、4月2日の昆虫館オープン（虫開き）までの間に、会員が目撃した蝶の種類、日時、場所を、Eメールで担当者（久保）に伝えるという方法で実施した。久保は寄せられた情報をとりまとめ、「初蝶ニュース」として週に1回メール配信した。本年の配信回数は9回であった。

期間中、27名の方々から、25種の蝶・蛾に関する情報が寄せられたほか、その他の昆虫9種、哺乳類2種についての情報も寄せられた。（付表）。

2. 2017年の気温傾向と初蝶

【気温傾向】

12月～3月の神戸市における日平均気温の累積（図1）を見るならば、2017年は、初蝶リレーを開始してから最も暖かだった2015年12月～2016年3月よりは低いものの、最も寒かった2012年より累積気温で100日/度以上高かった。特に冬の前半（12月～1月初旬）は、2016年とほぼ同じ累積気温を示している。その後、気温の低下傾向が続いたため、「やや寒い春」という印象につながったと思われる。ただし総合的に見るならば、かなり温かい冬だったと言えそうである。

日平均気温を10日間の移動平均でみると、1月の中旬過ぎと2月の中旬に、大きな気温の谷があり、この間、寒波に襲われていることがわかる（図2）。

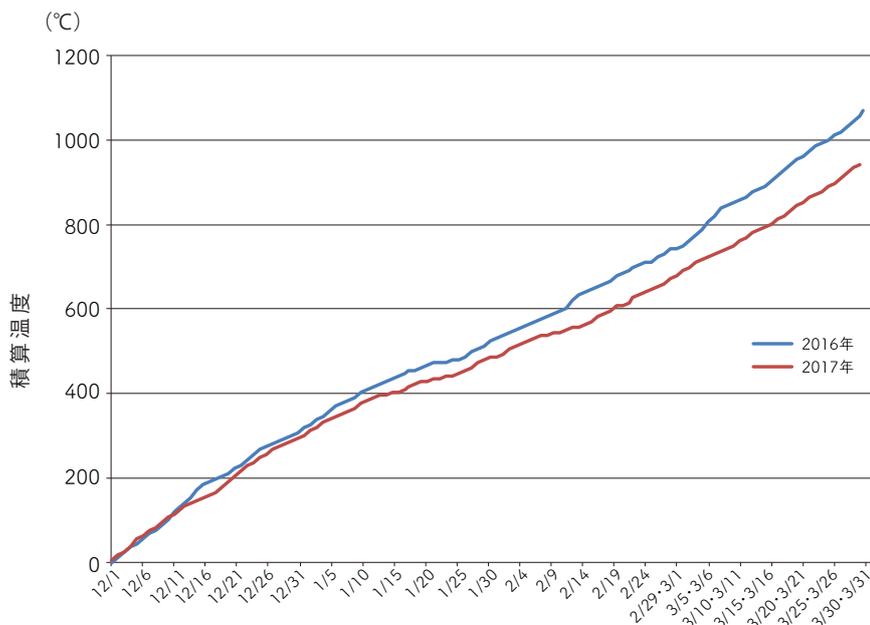


図1 2016年～2017年の12月～3月における日平均気温の累積。

¹⁾ Hiroyuki KUBO 兵庫県明石市 兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会

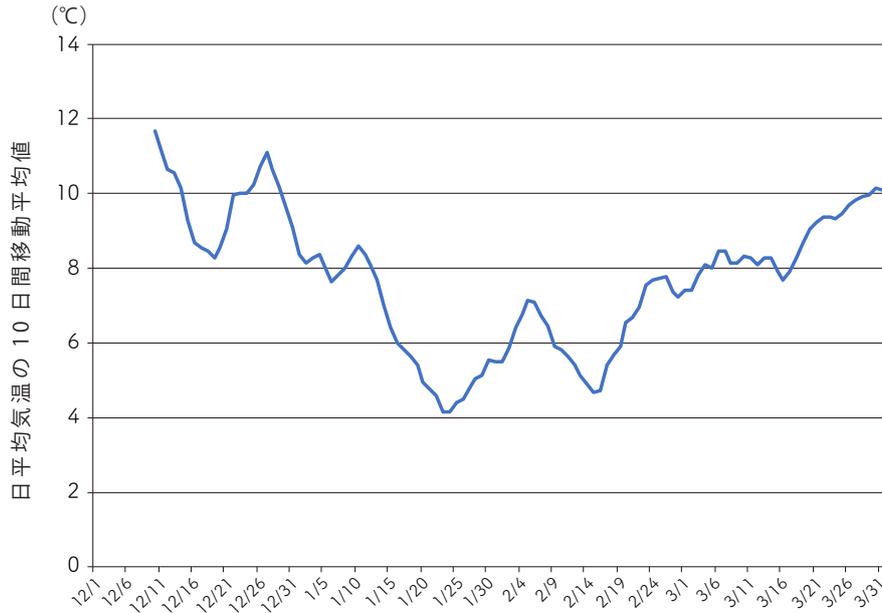


図2 日平均気温の10日間移動平均.

その後は、小さな寒暖を繰り返しながら3月末に至っているが、3月末での10日間移動平均気温の値が10°Cほどしかなく、この時期としてはやや寒かったと言えよう。昨シーズンと同程度からやや高めで推移し、2月上旬、3月上旬にきわめて温かい日が現れている。ただし、高気温の日と低気温の日との差が大きかったことも事実で、その分、寒いと体感した日も多かったかもしれない。

【初蝶】

2017年も、1月7日にモンシロチョウを目撃した。1月初頭のモンシロチョウ確認は、2016年から2年連続である。しかしその後は、3月初旬に至るまで、越冬個体を含め、蝶の活動はまったく記録されず、いわゆる「早発記録」と言える。

初蝶の確認は3月2日のモンキチョウ（播磨町）であるが、この前後には日最高気温が14°C前後を記録した日が並び、初蝶が羽化する条件が整い始めたものと思われる。モンシロチョウの初見はやや遅れるが、3月12日に姫路市、播磨町、明日香村、上牧町（奈良県）、仙台市などで一斉に目撃記録が出ていることは興味深い。わずかに遅れた（14日）橿原市の記録も含め、この時期にモンシロチョウが羽化に至る条件が各地で整ったということだろうか。

主要な種の初見日を2016年と比較してみると、モンキチョウを除くすべての種で、2016年より2～3週間も遅れたことがわかる（表1）。ちなみに2016年は、過去5年間で最も温かい冬であった。

【越冬組】

最初の活動確認は、2月25日のテングチョウである。昨年は2月の中旬から確認報告があったことを考えると、初蝶同様、越冬組の活動開始も遅かったと言えるだろう。

キタキチョウ、ツマグロキチョウ、キタテハ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、イシガケチョウ、テングチョウ、ウラギンシジミなどの越冬組は、2月末～3月初旬の時期に、一気に目撃記録がはじまっている。

イシガケチョウは南方系の蝶であるが、昨年度に続いて越冬個体が確認された。兵庫県における定着は疑いがないが、南方系でありながら、活動の開始が他のタテハチョウ類とほぼ同じ時期という点は興味深い。成虫が活動を開始する気温は、他種とどの程度違うのであろうか。どなたか実験的に確かめてみられてはどうだろうか。

【飼育記録】

一方、神戸市内での飼育記録であるが、屋外飼育のクロアゲハが3月11日、同28日に羽化したという報告があった。飼育個体が、通常の野外個体よりも早く羽化する傾向があることは、飼育経験者ならば首肯できるだろう。温度環境に大きく手を加えない屋外飼育とはいえ、飼育が羽化時期に大きく影響することがよくわかる事例である。

【蝶出現の条件】

これまでも何度か書いたが、初蝶が登場するためには蛹が羽化し、成虫が活動を始めなければならない。蛹が成長して成虫となるためには、蛹の成長に必要な温

表1 初見日の比較.

種名	2016年	2017年
モンシロチョウ	3月3日	3月12日
モンキチョウ	3月4日	3月2日
ツマキチョウ	3月22日	4月10日
アゲハチョウ	3月12日	3月30日
ベニシジミ	3月5日	3月20日
ヤマトシジミ	3月5日	3月29日
ルリシジミ	3月7日	3月19日

度が確保されなければならない。蛹がまったく成長できない温度は、成長零点と呼ばれる。

モンシロチョウ蛹の成長零点はおよそ11℃である。この温度を上回ると、蛹は蝶に向かって成長することができる。そして成長零点よりも高い温度が、累積しておよそ99日/℃に達すると、成長が完了して羽化に至る。

しかし成虫体ができあがっても、その時の気温が低ければ、羽化が遅れることになる。そこで2017年のモンシロチョウ、モンキチョウ、アゲハチョウの初見日と、その直前3日間の気温推移（神戸市）を見てみると、類似した特徴を見出すことができる（図3）。

モンキチョウの場合初見が3月2日であるが、その直前3日間の最低気温の高低差は1.9℃で、さほど大きな違いはない。しかし最高気温を見ると、初見日当日はそれまでより約4℃も高いや14.3℃を記録している。アゲハチョウではさらに顕著で、初見日の最高気温はそれ以前より5℃近くも高い。モンシロチョウの場合はこの違いは不明瞭だが、初見日の2日前に、最高気温が高い日が見られる。

こうしたことから、すでに成長を完了して羽化を待つ蛹が、気温の急上昇によって一気に羽化に至る状況が想起される。

3. おわりに

初蝶の登場は、毎年繰り返されるあたりまえの光景であるが、そうしたあたりまえの出来事であっても、多くの目で観察して情報を蓄積することによって、初蝶出現に関する経年的な変化や地域性を明らかにできる可能性がある。

今後も多くの方の協力を仰いで、この調査を継続してゆきたい。情報を提供していただいた皆様には、改めて深謝したい。また、データの集計には注意を払ったが、万一、投稿していただいたデータが漏れている場合は、すべて久保の責である。ご容赦いただくとともに、ご連絡を頂戴できれば幸甚である。

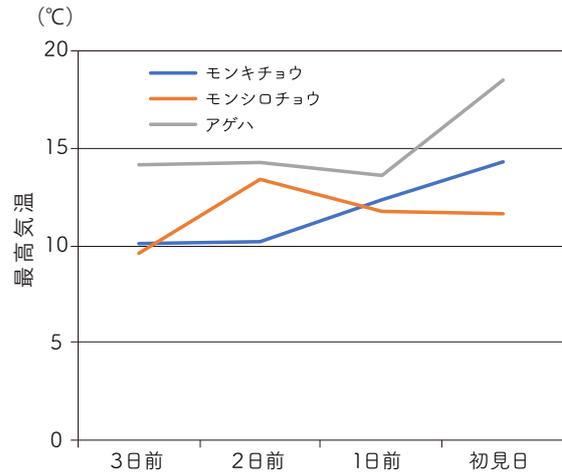


図3 初見日前3日間の最高気温の変化.



写真1 アゲハ。兵庫県明石市, 2017年3月27日筆者撮影.



写真2 ヤマトシジミ。兵庫県加古郡播磨町, 2017年3月27日筆者撮影.

付表1 初蝶リレー 2017 の成果 今春羽化組の蝶.

種	確認日	確認数	確認場所	確認者
モンシロチョウ	3月12日	1ex	姫路市	松下陽子
	3月12日	1♂	仙台市	清水哲哉
	3月12日	2♂	播磨町	久保弘幸
	3月12日	1♀	上牧町	小原正行
	3月12日	1♀	明日香村	掛谷立樹
	3月14日	1♀ 1ex	橿原市	林 太郎
	3月17日	1ex?	枚方市	西元大作
	3月19日	1♂	枚方市	西元大作
	3月19日	多数	今治市	清水颯太
	3月20日	1ex	伊丹市	齋藤泰彦
	3月20日	2ex	明石市	三木 進
	3月20日	3♂	姫路市	内藤親彦
	3月22日	1ex	常総市	茂見節子
	3月24日	1♂	橿原市	宮武頼夫
	3月24日	2♂ 1♀	橿原市	宮武頼夫
	3月25日	1ex?	村田町	清水哲哉
	3月26日	1ex	大阪市	河村幸子
	3月27日	1ex	たつの市	茂見節子
	3月28日	4exs	橿原市	宮武頼夫
	3月29日	3♂	橿原市	宮武頼夫
	3月29日	2ex	神戸市	清水颯太
	3月30日	15♂ 2♀	橿原市	宮武頼夫
	4月2日	10ex	橿原市	宮武頼夫
	4月3日	1ex	養父市	近藤伸一
4月3日	4exs	朝来市	近藤伸一	
モンキチョウ	3月2日	1♀	播磨町	久保弘幸
	3月12日	1ex	田原本町	黒木陽大
	3月24日	1♂	三田市	金子留美子
	3月25日	1♂	村田町	清水哲哉
	3月29日	1♂	橿原市	宮武頼夫
3月30日	2♂	橿原市	宮武頼夫	
4月2日	1♀	橿原市	宮武頼夫	
ツマキチョウ	4月10日	1♂	大阪市	河村幸子
アゲハチョウ	3月30日	1ex	小野市	東 輝弥
	4月2日	2ex	大和高田市	宮武頼夫
ルリシジミ	3月19日	1♂	橿原市	宮武頼夫
	3月19日	1ex	橿原市	林 太郎
	3月28日	3ex	神戸市	清水颯太・萌花
	3月30日	1♀	橿原市	宮武頼夫
	3月30日	1ex	小野市	東 輝弥
	4月2日	1ex	三木市	清水颯太
4月3日	1ex	朝来市	近藤伸一	
ベニシジミ	3月20日	1♂?	神戸市	清水萌花
	3月22日	1ex	常総市	茂見節子
	3月28日	1ex	神戸市	清水颯太・萌花
	3月29日	2ex	神戸市	清水颯太
ヤマトシジミ	3月29日	1♀	神戸市	清水颯太
コツバメ	3月29日	1ex	明日香村	林 太郎
ミヤマセセリ	3月30日	1ex	小野市	東 輝弥
クロアゲハ	3月11日	1♂*	神戸市	神保夏紀・千枝
	3月28日	1♀*	神戸市	神保夏紀・千枝

付表2 初蝶リレー 2017 の成果 越冬組の蝶.

種	確認日	確認数	確認場所	確認者
ツマグロキチョウ	3月4日	1ex	神戸市	中川貴美子
	3月12日	1♀	神戸市	清水颯太
	3月30日	1ex	小野市	東 輝弥
キタキチョウ	3月2日	1ex	宝塚市	足立 勲・服部 保
	3月20日	2ex	伊丹市	齋藤泰彦
	3月27日	1ex	たつの市	茂見節子
	3月29日	1♂	橿原市	宮武頼夫
	3月30日	17♂ 5♀	橿原市	宮武頼夫
	3月30日	1ex	小野市	東 輝弥
	4月2日	7♂	橿原市	宮武頼夫
	4月2日	4ex	三木市	清水颯太
	4月3日	1ex	朝来市	近藤伸一
	ヒメアカタテハ	3月4日	1ex	神戸市
キタテハ	3月4日	1ex	神戸市	清水颯太・典子
	3月5日	1ex	橿原市	林 太郎
	3月12日	1ex	上牧町	小原正行
	3月19日	3exs	橿原市	宮武頼夫
	3月19日	3exs	今治市	清水颯太
	3月28日	1ex	橿原市	宮武頼夫
	3月28日	1ex	神戸市	清水颯太・萌花
	3月29日	2exs	橿原市	宮武頼夫
	3月29日	2exs	神戸市	清水颯太
	3月30日	3exs	橿原市	宮武頼夫
	4月2日	1ex	橿原市	宮武頼夫
	4月2日	1ex	三木市	清水颯太
	4月3日	1ex	養父市	近藤伸一
	4月3日	1ex	朝来市	近藤伸一
アカタテハ	3月4日	1ex	橿原市	林 太郎
ルリタテハ	3月20日	1ex	神戸市	清水萌花
3月24日	1ex	三田市	金子留美子	
4月2日	1ex	橿原市	宮武頼夫	
4月2日	1ex	明石市	中川貴美子	
ヒオドンチョウ	3月26日	1ex	佐用町	久保弘幸
	3月30日	1ex	小野市	東 輝弥
イシガケチョウ	3月5日	1ex	宝塚市	齋藤泰彦
テングチョウ	2月25日	1ex	橿原市	林 太郎
	3月5日	1ex	宝塚市	齋藤泰彦
	3月6日	1ex	たつの市	茂見節子
	3月12日	1ex	たつの市	前田啓治
	3月13日	1ex	たつの市	茂見節子
	3月24日	3ex	三田市	金子留美子
	3月25日	3exs	箕面市	金子留美子
	3月28日	1ex	神戸市	清水颯太・萌花
	3月29日	1ex	橿原市	宮武頼夫
	3月30日	1ex	小野市	東 輝弥
	4月2日	1ex	橿原市	宮武頼夫
ウラギンシジミ	3月4日	1♀	枚方市	西元大作
	3月5日	1♀	交野市	西元大作
	3月12日	1♀	明日香村	林 太郎
ムラサキシジミ	3月5日	1ex	交野市	西元大作
	3月12日	1ex	たつの市	前田啓治

付表3 初蝶リレー 2016 の成果 蛾, その他の昆虫など.

種名	確認日	確認数	確認場所	確認者
ガ				
マイコトラガ	3月26日	1ex	佐用町	久保弘幸
シロヘリキリガ	3月19日	1ex	檀原市	宮武頼夫
マエアカスカシノメイガ	3月20日	1ex	伊丹市	齋藤泰彦
	3月27日	1ex	たつの市	茂見節子
イカリモンガ	3月5日	1ex	佐用町	脇村涼太郎
不明蛾 sp.	3月4日	1ex	枚方市	西元大作
その他の昆虫・動物				
ヒゲナガサシガメ幼虫	3月4日		枚方市	西元大作
	3月5日		交野市	西元大作
クサギカメムシ	3月5日		交野市	西元大作
オオキンカメムシ	3月5日		交野市	西元大作
ミカドテントウ	3月5日		交野市	西元大作
ナミテントウ	3月20日	1ex	伊丹市	齋藤泰彦
ヒシバツタの1種	3月5日		交野市	西元大作
ツノブトホタルモドキ	3月20日	1ex	神戸市須磨区	清水颯太
ミツバチ	3月20日	多数	伊丹市	齋藤泰彦
ネズミの1種	3月4日		香美町	近藤伸一
アナグマ	3月5日		朝来市	近藤伸一

セミの初鳴き, 鳴きおさめの日

— みんなで調べよう 2017 —

近藤 伸一¹⁾・永井 英司²⁾

はじめに

兵庫県を中心に, 各地のセミの鳴き始めや鳴きおさめの時期を記録した. 2017 年は 12 種のセミについて, 全国の 20 都道府県 99 市町から 719 件の鳴き声の記録を収集することが出来た. 調査は 4 月 22 日に京都府福知山市のハルゼミで始まり 11 月 3 日の宮城県仙台市チッチゼミで終了した.

調査範囲は, 近畿 (5 府県 50 市町), 中国 (3 県 8 市町), 北陸 (3 県 4 市町), 関東 (3 都県 5 市町), 東北 (4 県 29 市町), 北海道 (2 町) の 20 都道府県 99 市町に及んだ. 情報は, こどもとむしの会会員, 兵庫昆虫同好会会員, 昆虫愛好家の皆様, Facebook グループ「セミの初鳴き, 鳴きおさめの日」などの皆様からいただいた.

2018 年も調査継続の予定であり, ①セミの種類, ②確認月日, ③確認場所, ④確認者氏名をこどもとむしの会の会員メールまたは個人メール (s-kondo60@kzh.biglobe.ne.jp), Facebook グループ「セミの初鳴き, 鳴きおさめの日」に報告いただければ幸いである.

2017 年の調査に際して, 多くの情報をお寄せいただいた下記の方々にお礼申し上げる.

相坂耕作・足立隆昭・浅田・卓・新井雅夫・安積茂年・維田浩之・稲葉一明・植田義輔・瓜生隆宏・江田敏昭・大塚剛二・大槻 浩・大鶴貴美・大嶋道弘・岡嶋幹雄・尾崎真也・尾畑俊彦・河井 周・河井典子・河村幸子・笠井裕代・川瀬真次・金子留美子・金谷栄子・北垣和也・北村蛇曳・久保弘幸・小林慧人・近藤太郎・齋藤泰彦・佐藤邦夫・山段眞彦・山段弥寿子・清水哲哉・下山早苗・嶋田 勇・菅村定昌・谷角素彦・竹田真木生・竹内 隆・立岩幸雄・高橋耕二・高橋 信・高橋安奈・徳平拓朗・内藤親彦・永幡嘉之・中川貴美子・那倉智行・西本 裕・野口明美・野村智範・八田康弘・林 太郎・伴 信彦・久永洋子・藤本 出・藤本智美・藤木恭子・前川和則・松金知香・松尾秀行・松下宗嗣・正木詔一・三橋陽子・宮武頼夫・茂見節子・八木 剛・山崎悠高・山本一幸・山本千代・吉岡朋子・吉岡英二・吉田浩史・渡辺弥生 (敬称略)

1. 2017 年の記録

- ①兵庫県内に分布する 13 種のうち, アカエゾゼミを除く 12 種の鳴き声が記録された.
- ②記録の詳細は「表 1 種類別セミの鳴き声の記録」のとおりである.
- ③ 2013 ~ 2017 年の 5 か年を比較したのが図 1 である. 2016 年まで鳴き始め時期が早くなる傾向にあったが, 2017 年はほとんどの種において前年より鳴き始め, 鳴きおさめの時期が遅れた. (観察例の少ない種は除く)
- ④県内で鳴き始めた種の順番はハルゼミ (4/30) →エゾハルゼミ (5/30) →ニイニイゼミ (6/20) →クマゼミ (6/27) →アブラゼミ (7/2) →ヒグラシ (7/4) →ヒメハルゼミ (7/9) →ミンミンゼミ (7/17) →ツクツクボウシ (7/22) →エゾゼミ (8/4) →チッチゼミ (8/21)
- ⑤県内で鳴き終わる種の順番はハルゼミ (7/3) →エゾハルゼミ (7/16) →ヒメハルゼミ (7/30) →ニイニイゼミ・エゾゼミ (9/4) →ヒグラシ (9/7) →クマゼミ・アブラゼミ (9/24) →チッチゼミ (10/9) →ミンミンゼミ (10/11) →ツクツクボウシ (10/27)

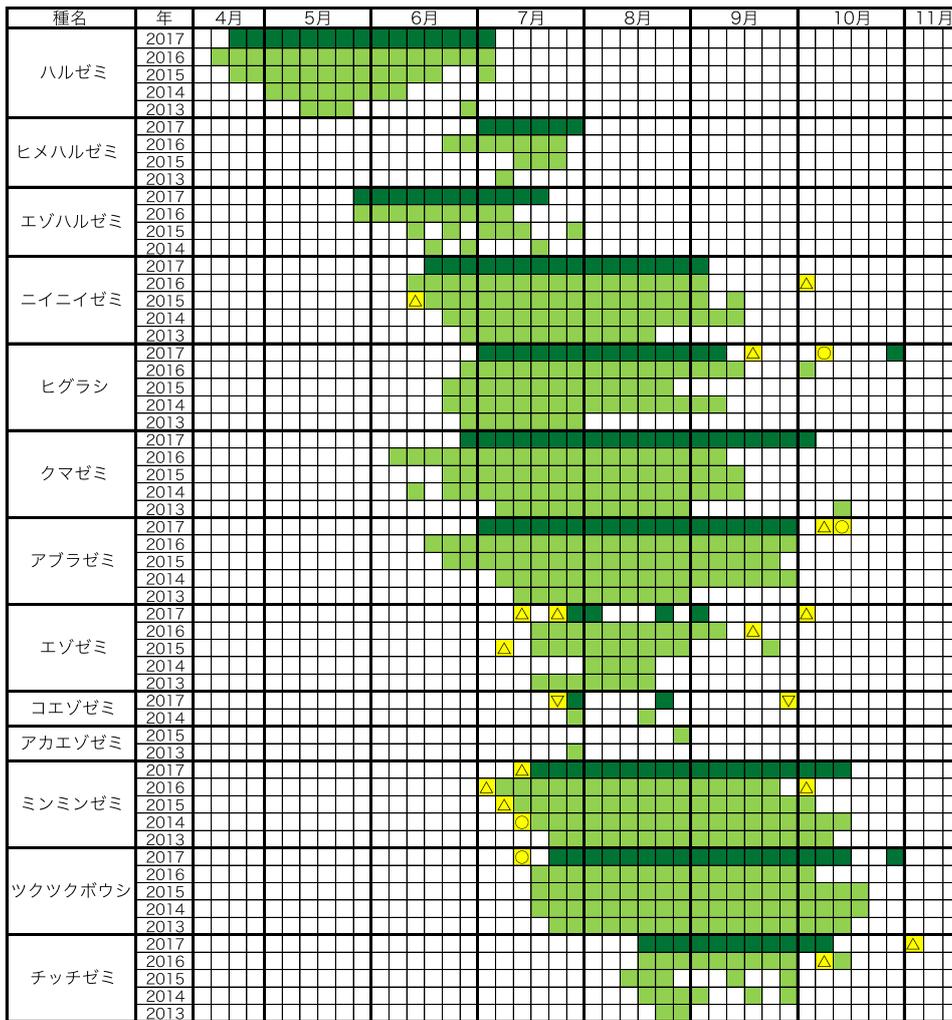
2. 地域別の初確認記録と最終記録

兵庫県内を 6 地域に分けて, 2017 年の種ごとの鳴き始める地域順と最終の地域を記録した. 地域名称については, 阪神 (川西市~神戸市), 播磨 (明石市~姫路市), 西播磨 (たつの市以西), 但馬 (朝来市以北), 丹波 (丹波市, 篠山市), 淡路とした. また県外の記録で, 兵庫県より早い記録及び遅い最終記録は斜体文字で府県名のみ記した.

①ハルゼミ

- ・鳴き声初確認 4/22 京都府, 4/30 播磨, 5/1 西播磨, 5/4 但馬, 5/8 阪神・丹波
- ・最終日 7/3 但馬

¹⁾ Shinichi KONDO 兵庫県朝来市; ²⁾ Eizi NAGAI 兵庫県豊岡市



2017年 ■ 近畿及びその周辺 ○ 関東 ▲ 東北 ▼ 北海道

図1 兵庫県及びその他地域におけるゼミの鳴き声の確認日(2013～2017の比較).

② ヒメハルゼミ

- ・初確認 7/2 京都府, 7/9 但馬
- ・最終日 7/30 但馬

③ エゾハルゼミ

- ・初確認 5/30 但馬
- ・最終日 7/16 但馬

④ ニイニイゼミ

- ・初確認 6/20 播磨, 6/28 西播磨, 6/29 但馬, 7/1 丹波・阪神
- ・最終日 9/4 但馬

⑤ ヒグラシ

- ・初確認 7/2 京都府, 7/4 但馬, 7/5 阪神, 7/12 丹波, 7/13 播磨, 7/15 西播磨
- ・最終日 9/7 但馬, 9/9 千葉県, 9/19 山形県, 10/10 東京都, 10/27 京都府

⑥ クマゼミ

- ・初確認 6/27 阪神, 7/3 播磨, 7/8 西播磨, 7/13 但馬, 7/14 丹波
- ・最終日 9/24 播磨, 10/4 大阪府

⑦ アブラゼミ

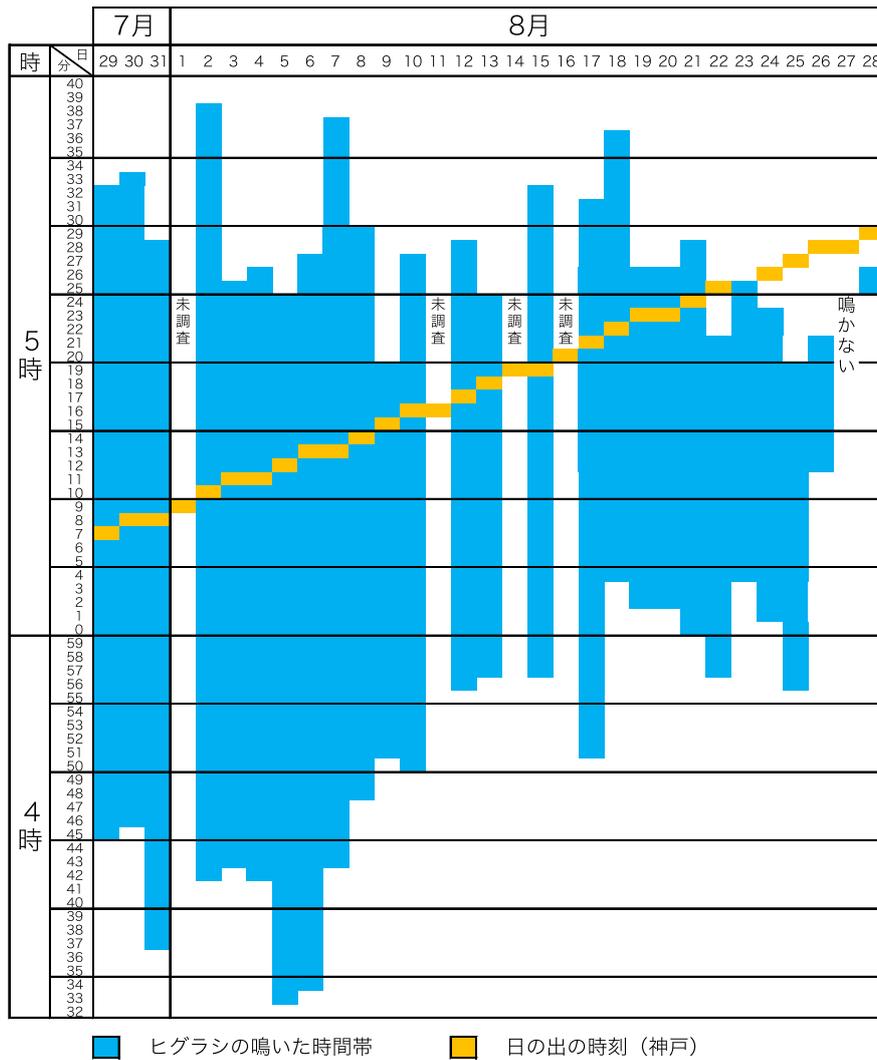
- ・初確認 7/2 播磨, 7/4 阪神, 7/16 西播磨・但馬, 7/18 丹波
- ・最終日 9/24 但馬, 9/29 奈良県, 10/9 山形県, 10/12 東京都

⑧ エゾゼミ

- ・初確認 7/14 宮城県, 7/25 山形県, 7/28 京都府, 8/4 但馬
- ・最終日 9/4 但馬, 10/2 山形県

⑨ ミンミンゼミ

- ・初確認 7/14 山形県, 7/15 福島・宮城県, 7/17 但馬, 7/25 播磨, 7/28 阪神・丹波, 8/3 西播磨



ヒグラシ

ヒグラシが鳴く早朝の時間帯を計測 (近藤伸一)

- ・ヒグラシは早朝と夕暮れの2回鳴くが、朝来市立脇で、早朝の鳴く時間帯を計測した。(図2)
- ・計測したのは2017年7月29日から最終の8月28日までの27日間(4日未計測)。
- ・計測場所は朝来市立脇(自宅の庭)
- ・鳴き始める時刻は、日の出時刻の変化とほぼ比例し、日の出時刻より20~30分早い時間帯から鳴き始めた。
- ・鳴き終える時刻は日の出時刻との関係は認められず、5:19~38の間であった。
- ・鳴き始めた時刻が最も早かったのは4:33(8/5)遅かったのは5:25(8/28)。
- ・鳴き終える時刻が最も早かったのは5:19(8/9)遅かったのは5:38(8/2)。
- ・鳴いている時間帯が長かったのは56分間(4:42~5:38 8/2)
- ・鳴いている時間帯が短かったのは2分間(5:25~5:26 8/28)
- ・計測期間中の早朝に鳴かなかったのは8月27日で、この日は17:49~18:39の間に鳴いた。
- ・8月28日が最終で、早朝に2分間(5:25~5:26)少数が弱々しく鳴き、夕方は鳴かずこれが最後となった。

ヒグラシの飛び離れた時期遅れの鳴き (永幡嘉之)

- ・山形県小国町樽口峠で、9月19日に1頭の鳴き声を確認。同地での今年の鳴き始めは7月中旬、8月18日にほぼ終息していた。このように飛び離れて時期遅れに鳴くものはこれまでに何度も経験しており、いくつか同好会誌に書いたことがありますが、山形県内で9月30日、10月8日などにも経験しています

ヒグラシの遅い記録 (金谷栄子)

- ・京都府福知山市夜久野高原で2017年10月27日に鳴き声を確認

クマゼミ

クマゼミの飛び離れた遅い記録 (植田義輔)

- ・大阪府枚方市枚方上之町では9月3日でほぼ鳴き納めと思われたが、9月18日、9月23日、9月29日にいずれも1個体の鳴き声を確認した。10月4日12:30天候は晴、1個体の鳴き声。3回鳴くこれが最終。

アブラゼミ

オオカマキリがアブラゼミ成虫を捕獲しているのを観察 (近藤伸一)

- ・8月18日 朝来市立脇でサクラの幹、高さ1.5mの位置で、オオカマキリに捕獲されたアブラゼミを観察

した。13:30 暴れるアブラゼミの羽音に気づき動画観察を始めた。オオカマキリは中、後肢で体を支え、右前肢(カマ)でセミの腹部を、左前翅でセミの翅の付け根をしっかりとつかみ、32分には羽ばたくセミの腹部をかじり始めた。その後セミの羽ばたきの回数が減り、撮影開始から9分後の13時39分には羽ばたかなくなった。(写真2)

参考 2015年8月27日、8時33~ 同一場所でハラビロカマキリがアブラゼミ成虫を捕獲(写真3)

<https://www.youtube.com/watch?v=8XZV1qMgwcw>

エゾゼミ

エゾゼミの秋季の低地分散 (永幡嘉之)

- ・エゾゼミは但馬では発生初期には内陸部の香美町村岡区丸味や相岡まではいても、新温泉町浜坂にはいませんでした。しかし10月に入ると低地への分散が起こり、たとえば鳥取砂丘でも声を聞いたりしていました。山形でもエゾゼミの低地への移動は起こります。

ツクツクボウシ

ツクツクボウシの遅い記録 (近藤伸一)

- ・朝来市立脇では、10月に入って10日まで複数個体が鳴き、11日以降聞かなくなったが、10月27日12:30 1個体が16日ぶりに鳴いた。10月30日には弱って草むらに落下している♀を採集した。

チッチゼミ

チッチゼミの遅い記録 (清水哲哉)

- ・11月3日 宮城県仙台市青葉区葛岡霊園 密度は低いがあちこちで鳴く(11/10は確認できませんでした。)



写真1 エゾハルゼミの交尾. 2017年7月3日 兵庫県香美町.



写真2 オオカマキリがアブラゼミを捕食. 2017年8月3日 兵庫県朝来市.



写真3 ハラビロカマキリがアブラゼミを捕食. 2015年8月27日.

表1 種類別ゼミの鳴き声情報 (◎初鳴き, ●鳴きおさめ).

1. ハルゼミ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
4	22	京都	福知山市	◎猪崎 (三段池) 11時頃, 散歩中に聞きました.	山段弥彦
	30	兵庫	姫路市	青山南 1♂	内藤親彦
	30	兵庫	小野市	阿形町鶴池公園 1頭 毎年多くの鳴き声が聞こえるところで, 今年は発生が遅れているようです.	佐藤邦夫
	1	兵庫	たつの市	新宮町 新田山 (西山公園)	清水哲哉
3	鳥取	賀露町	賀露町 海岸の松林から	大槻浩	
4	兵庫	豊岡市	日高町奈佐路 雑木林 午後3時ごろ	山本一幸	
5	兵庫	姫路市	青山南 1♂	内藤親彦	
5	兵庫	穴栗市	山崎町最上山	立岩幸雄	
5	兵庫	小野市	来住町岩倉, 13:00 1頭の鳴き声が短時間だけ聞こえた	谷角・佐藤	
5	兵庫	豊岡市	祥雲寺 午後3時ごろ, コウノトリの郷公園	高橋 信	
5	兵庫	香美町	香住区沖浦 沖浦山跡. けっこう大合唱. 11:45	永井英司	
5	京都	与謝野町	男山 コナラ林 林縁 12時ちょうど	尾崎真也	
7	岡山	美作市	◎原 数頭が一時鳴いただけ	藤本出	
7	京都	福知山市	三段池公園 ハルゼミの蝉時雨. 植物園下の松林ではハルゼミの脱け殻	山段眞彦	
7	兵庫	豊岡市	日高町神鍋山 マツ林 10時30分 1頭	菅村定昌	
7	兵庫	養父市	大屋町加保坂ミズバショウ公園内 11時ごろ あちこちで鳴いていました	山本一幸	
8	兵庫	丹波市	柏原町柏原 兵庫県柏原庁舎近く 12時30分	尾崎真也	
8	兵庫	神戸市	北区道場生野 尾根筋方面から, 1個体 1回だけ.	八木 剛	
8	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野 (神鍋山登山口) 11:51 3個体 (鳴き声)	植田義輔	
8	京都	京都市	北区上賀茂	小林慧人	
11	兵庫	上郡町	光都 1♂ 般 1 兵庫県立大学付属中学校	相坂耕作	
11	兵庫	加東市	上久米 社の森	茂見節子	
12	兵庫	宝塚市	大原野 11:05 数頭の初鳴きを確認しました	西本 裕	
14	京都	京田辺市	京田辺市多々羅	小林慧人	
14	兵庫	加東市	滝野町上滝野 播磨中央公園 1頭だけ鳴いていた	佐藤邦夫	
14	兵庫	三田市	福島 有馬富士公園とその周辺 数個体	八木 剛・徳平拓朗	
14	兵庫	豊岡市	出石町谷山 有子城址 複数	稲葉一明	
14	兵庫	豊岡市	但東町西谷 11:30 14時	正木詔一	
18	兵庫	加古川市	志方町	近藤伸一	
19	京都	京丹後市	久美浜町	近藤伸一	
19	兵庫	三木市	三木山森林公園 初鳴き 15:00	大鶴貴美	
19	兵庫	豊岡市	但東町相田	永井英司	
20	兵庫	丹波市	青垣町遠坂 アサヒの森 10:30	永井英司	
20	兵庫	佐用町	船越 昆虫館	八田康弘	
21	兵庫	豊岡市	但東町相田 相田神社 10:30	永井英司	
22	兵庫	篠山市	火打岩 3か所で	近藤伸一	
23	兵庫	豊岡市	日高町稲葉	近藤伸一	
25	兵庫	豊岡市	祥雲寺コウノトリ郷公園	正木詔一	
25	兵庫	豊岡市	京町亀山	正木詔一	
29	兵庫	朝来市	立脇 11:30 ~ 12:10 1頭 この日だけ	近藤伸一	
28	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野 (神鍋山登山口付近) 2個体 (鳴き声) まだ鳴いている.	植田義輔	
28	兵庫	豊岡市	竹野町奥山床瀬林道 9:00-14:00の間	山崎悠高	
28	兵庫	豊岡市	日高町神鍋山 9:00-14:00の間	山崎悠高	
28	兵庫	佐用町	佐用町昆虫館の駐車場北側, 13:20	齋藤泰彦	
29	兵庫	香美町	ハチ北	中川貴美子	
30	兵庫	養父市	別宮 複数個体の鳴き声	近藤伸一	
30	兵庫	養父市	大久保 (ハチ高原) 複数個体	近藤伸一	
1	兵庫	養父市	別宮	佐藤邦夫	
2	大阪		妙見山: ロープウェイから山頂に向かう途中 1匹だけの独鳴	金子留美子	
4	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野まだ鳴いている.	植田義輔	
4	兵庫	豊岡市	日高町稲葉 2個所で	近藤伸一	
9	兵庫	朝来市	青倉山 h = 600m 2個体鳴く	近藤伸一	
10	兵庫	豊岡市	但東町相田 9:30	永井英司	
13	兵庫	多可町	加美区市原 市原峠付近 2♂が合鳴していました.	佐藤邦夫	
14	兵庫	養父市	ハチ高原 まだ複数個体が鳴いている	近藤伸一	
14	兵庫	豊岡市	但東町 郷路岳頂上付近 11:00 5頭く	菅村定昌	
17	兵庫	香美町	野間峠 正午頃	笠井裕代	
20	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野 12:20 1個体	植田義輔	
22	岡山	真庭市	上徳山	永福嘉之	
24	兵庫	香美町	村岡区ソラ山付近. 林の中屋下がり	笠井裕代	
30	兵庫	豊岡市	蘇武岳標高 600m 付近のアカマツ森林 15:00	菅村定昌	
1	京都	福知山市	猪崎三段池公園 10:30 このあたりでは鳴きおさめかも	山段眞彦	
15	京都	香美町	村岡区鉢伏山 14:30 1♂採集	嶋田 勇	
3	兵庫	香美町	村岡区和池 木の殿堂付近 少なくとも2個体	佐藤邦夫	

2. ヒメハルゼミ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
2	京都	福知山市	談 15:50		永井英司
5	京都	京丹後市	藤社神社 夕刻 ~ 夜間に発生が始まったが, 鳴き声はありません. 鳴き声を発するのは, 発生が始まって 5~7日が通常.		嶋田 勇
8	京都	福知山市	大江町皇大神社 17:30		山段眞彦
7	9	兵庫	豊岡市	気比 17時から1時間ほどの間に3回	河井周・典子
15	京都	福知山市	談 大合唱, 脱け殻多数		山段眞彦
21	京都	伊根町	亀島 亀山バス停付近 15:20 亀島地区の一番奥の亀山バス停付近. 民家裏手の山林 (照葉樹林) から大合唱		松尾秀行
30	兵庫	豊岡市	網巻神社スタジオ林 10:30		尾崎真也
参考	7月15日	兵庫県波賀町	原 八幡神社で 11時頃 大合唱 ・ヒメハルゼミか? 要確認		茂見節子

3. エゾハルゼミ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
5	30	兵庫	養父市	大久保 鉢伏山登山道 複数個体	近藤伸一
14	兵庫	養父市	ハチ高原 多数鳴く (最盛期). 25日もまだ鳴いていた		近藤伸一
14	島根	雲南市	吉田 大万木山 (北側) H=900m		吉田浩史
6	14	広島	庄原町 香妻山 (山頂付近) H=1200m		吉田浩史
15	兵庫	豊岡市	林道蘇武・三川線のあちこち9時台		高橋 信
15	兵庫	新温泉町	麗ノ山登山中, 大ツツコの頂き手前のブナ林で 11:00		山本一幸
17	兵庫	香美町	野間峠 正午頃		笠井裕代

表1 続き (○初鳴き, ●鳴きおさめ).

6	23	京都	福知山市	大江山鬼嶽稲荷 非常に少ない。11:30 鳥を警戒している感じ、すぐに、鳴き止んでしまう。	山段眞彦
	23	宮城	仙台市	青葉区熊沢林道	清水哲哉
	24	宮城	青森市	青森山	清水哲哉
	24	兵庫	香美町	ソラ山付近、昼下がり 林の中	笠井裕代
	26	兵庫	香美町	村岡区・鉢伏山東根&登山道 10:00~14:58 晴 (標高 1,050m)	嶋田 勇
7	29	宮城	仙台市	青葉区熊沢林道	清水哲哉
	2	兵庫	新温泉町	畑ヶ平林道周辺 12:00 プナ林で多数鳴いていました	山本一幸
	3	兵庫	香美町	村岡区鉢伏山 棲息最盛期 交尾撮影	嶋田 勇
	3	兵庫	香美町	村岡区和池 木の殿堂付近 1個体。	佐藤邦夫
	7	岩手	岩泉町	有芸	永嶋嘉之
	8	兵庫	養父市	ハチ高原、香美町新屋 広い範囲で一日中鳴く	近藤伸一
	8	岩手	北上市	夏油	永嶋嘉之
	8	京都	福知山市	大江町鬼嶽稲荷神社 8:30	山段眞彦
	13	兵庫	養父市	横濱谷標高 800m ~大段平 10:00 ~ 14:00 いたるところで	菅村定昌
	14	宮城	白石市	白石スキー場	清水哲哉
16	兵庫	養父市	ハチ高原、香美町新屋 広い範囲で一日中鳴く	近藤伸一	

4. ニイニゼミ

月	日	都府県	市町	場所、状況	観察者
6	20	兵庫	三木市	○ 三木山森林公園	川瀬 真次・大嶋 真美
	24	宮城	名取市	高館川 少数	清水哲哉
	28	兵庫	赤穂市	○ 加里屋字西沖	岡嶋幹雄
	29	兵庫	豊岡市	○ 加藤の山手 14:30	山本一幸
	29	兵庫	豊岡市	小島 円山川右岸の円山川公苑 15:40 頃	北垣和也
	29	山形	山形市	十日町、山形市蔵王成沢	永嶋嘉之
	30	山形	山形市	蔵王山田、山形市蔵王半郷 例年よりかなり遅い	永嶋嘉之
	30	宮城	名取市	高館川 少数	清水哲哉
	1	兵庫	篠山市	○ 網掛 夕方	河井典子
	1	兵庫	三田	○ 弥生が丘深田公園 1個体	八木 剛
7	1	岡山	美作市	○ 原	藤本 出
	2	京都	福知山市	福知山市談	山段眞彦
	2	兵庫	三木市	吉川町上中 北谷川沿い 9:00	大嶋 浩
	2	京都	福知山市	興愛宮神社周辺 9:30	大槻 浩
	2	兵庫	神戸市	須磨区高倉町 2丁目 16:00	大嶋 浩
	2	兵庫	豊岡市	但東町正法寺 シルク温泉 19:30	永井英司
	2	兵庫	明石市	○ 大久保町高丘	久保弘幸
	2	大阪	枚方市	○ 枚方上之町 1個体	植田義輔
	3	京都	京丹後市	弥栄町鳥取	山段眞彦
	3	京都	福知山市	猪崎 三段池	山段眞彦
	3	東京	三鷹市	井の頭公園 8:00	野口明美
	3	兵庫	丹波市	柏原町柏原 柏原八幡宮 12:30	尾崎真也
	4	石川	金沢市	伏見川河畔 5:30 雨の切れ間に	江田敏昭
	4	兵庫	豊岡市	但東町相田 5:50	永井英司
	4	兵庫	たつの市	○ 御津町にて	茂見節子
	5	兵庫	川西市	大和西 1丁目 足立隆昭	足立隆昭
	5	兵庫	豊岡市	祥雲寺 コウノトリの郷公園	高橋 信
	5	京都	舞鶴市	大浦	高橋安奈
	5	兵庫	豊岡市	日高町上郷 11:00	正木詔一
	5	京都	京丹後市	丹後鉄道京丹後大宮駅 18:20	笠井裕代
	6	兵庫	朝来市	立脇 11:15	尾崎真也
	6	兵庫	神戸市	北区道場町平田 14:30	松金知香
	6	兵庫	宝塚市	○ 平井の自宅にて正午、数頭の鳴き声を確認	藤藤泰彦
	6	兵庫	丹波市	春日町多田	足立隆昭
	6	兵庫	加西市	古法庫自然公園 数個体	佐藤邦夫
	6	兵庫	姫路市	青山南 2♂	内藤親彦
	6	宮城県	村田町	城山	清水哲哉
	7	兵庫	姫路市	本町 姫路城	浅田 卓
	7	岩手	岩泉町	岩泉町龍泉洞	永嶋嘉之
	7	岩手	宮古市	田代	永嶋嘉之
	7	岩手	盛岡市	上米内	永嶋嘉之
	7	岩手	北上市	江釣子	永嶋嘉之
	7	岩手	岩泉町	○ 横道・岩泉 3:40	永嶋嘉之
	7	兵庫	三田市	大川瀬 13:30	松金知香
	7	兵庫	豊岡市	日高町上石 自宅裏 18:30 1頭	菅村定昌
	7	兵庫	宝塚市	鹿塩 19:00	松金知香
8	岩手	北上市	江釣子	永嶋嘉之	
8	山形	新庄市		永嶋嘉之	
8	山形	舟形町		永嶋嘉之	
8	兵庫	豊岡市	大磯町 9:00	稲葉一明	
8	兵庫	神戸市	須磨区竜が台 11:00 複数	瓜生隆宏	
8	兵庫	豊岡市	京町 16:00	正木詔一	
8	京都	福知山市	大江町皇大神社 17:30	山段眞彦	
8	兵庫	朝来市	○ 和田山町桑原 18:00 今年初聴きました	安積茂年	
8	大阪	摂津市	○ 三宅柳田小学校付近	金子留美子	
9	兵庫	朝来市	○ 立脇 早朝鳴く	植田義輔	
9	山形	山形市		永嶋嘉之	
9	兵庫	姫路市		永嶋嘉之	
9	兵庫	太子町		永嶋嘉之	
9	岡山	津山市		永嶋嘉之	
9	岡山	真庭市		永嶋嘉之	
9	兵庫	西宮市	段上町、室川町、寿町 4:45	松金知香	
10	岡山	真庭市	上徳山	永嶋嘉之	
10	山形	天童市	成生	永嶋嘉之	
10	山形	山形市	蔵王半郷	永嶋嘉之	
12	兵庫	神戸市	中央区下山手通 相楽園	浅田 卓	
12	兵庫	神戸市	西区岩岡町	近藤伸一	
12	兵庫	豊岡市	○ 九日市上町	尾畑俊彦	
12	石川	金沢市	伏見川・高橋川合流点辺り 9:30	江田敏昭	
13	京都	宮津市	万町桜山 18:20 数匹	山本千代	
15	山形	山形市	上桜田 羽化中を日中に4個体確認	永嶋嘉之	
16	兵庫	豊岡市	但東町西谷 13日 留守のため初鳴きか不明	藤本 恭子	

7	17	兵庫	神戸市	東灘区西岡本 5:30	松金知香
	17	兵庫	朝来市	立脇 10:25	尾崎真也
	20	兵庫	朝来市	立脇 今年は何体数が多い(初鳴きは7月9日)	近藤伸一
	23	兵庫	多可町	中区稲屋ヶ丘周辺 広範囲に多数が鳴く	近藤伸一
	29	京都	宮津市	万町 桜山公園 15時 数匹	山本千代
	29	京都	福知山市	仏性寺 10時	大槻 浩
	29	岡山	真庭市	真庭市上徳山 多数	永嶋嘉之
	29	奈良	宇陀市	榎原松牧 平成榎原子供のもり公園 午前午後ともよく鳴いていた	宮武頼夫
	30	兵庫	豊岡市	7月30日 豊岡市絹巻神社 スダジイ林 11時	尾崎真也
	5			いつのまにかニイニゼミの声がしなくなった	山段眞彦
8	13	兵庫	神戸市	東灘区田中町 JR 摂津本山駅南 1個体鳴く。14日以降、同地点では聞かれない	吉田浩史
	14	奈良	橿原市	水原町耳成山 午後5時10分~20分	宮武頼夫
	16	兵庫	朝来市	立脇	近藤伸一
	21	兵庫	香美町	小代区新屋 1頭鳴く	植田義輔
	24	兵庫	三木市	三木山森林公園 少なくなった	川瀬 真次
	25	兵庫	篠山市	東古佐 まだ鳴いている	河井典子
	28	兵庫	三木市	● 三木山森林公園	川瀬 真次
	28	兵庫	篠山市	● 網掛 夕方に少し鳴いたのが最後でした。	河井周・典子
	30	兵庫	神戸市	中央区 相楽園	浅田 卓
	30	兵庫	養父市	浅野	近藤伸一
9	4	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野(神鍋山) 1個体 まだ鳴いていた	植田義輔

5. ヒグラシ

月	日	都府県	市町	場所、状況	観察者
7	2	京都	福知山市	野花付近	金谷栄子
	4	兵庫	豊岡市	但東町西谷	藤本 恭子
	5	兵庫	豊岡市	但東町相田 19:24	永井英司
	5	兵庫	神戸市	北区有野町唐櫃 初鳴き 18:50	河村幸子
	6	京都	京丹後市	○ 峰山町長岡 19:21 1♂の単独鳴き 4度	嶋田 勇
	6	兵庫	豊岡市	柴町 コウノトリの郷公園 19:27	北垣和也
	7	岩手	盛岡市	上米内	永嶋嘉之
	7	宮城	蔵王町	○ 透刈田温泉上ノ原	清水哲哉
	8	兵庫	朝来市	多々良木 17時半	尾崎真也
	8	京都	福知山市	大江町鬼嶽稲荷神社 18:30	山段眞彦
	9	岡山	美作市	原♂を見たが鳴く時間帯では無かったので鳴き声は聞けず	藤本 出
	9	岡山	真庭市	真庭市上徳山	永嶋嘉之
	9	兵庫	朝来市	○ 立脇 早朝 2個体	植田義輔
	9	兵庫	豊岡市	但東町南尾 18:00	河井周・典子
	10	山形	山形市	○ 蔵王半郷	永嶋嘉之
	10	京都	京丹後市	京丹後市 丹後鉄道京丹後大宮駅 18:13	笠井裕代
	10	兵庫	朝来市	山東町野間 夜久野高原 18:50	永井英司
	10	兵庫	豊岡市	○ 九日市上町 19:00	尾畑俊彦
	11	岡山	吉備中央町	○ 上田西	藤本 出
	11	京都	宮津市	○ 須津倉梯山 須津 18:39	笠井裕代
	12	兵庫	篠山市	○ 東古佐 4:42	河井周・典子
	12	兵庫	篠山市	山口駅周辺 19:00	河井周・典子
	12	宮城	名取市	高館川	清水哲哉
	12	兵庫	篠山市	網掛 19:20	河井周・典子
	13	兵庫	神戸市	○ 北区有野台 例年よりかなり遅い	八田 康弘
	13	兵庫	姫路市	夢前町護持 13日より前から鳴いていたようです。	下山早苗
	13	京都	福知山市	○ 猪崎 5:30 やっと鳴きました。遅い	山段眞彦
	14	兵庫	豊岡市	京町 5:00	正木詔一
	15	兵庫	養父市	ハチ高原	近藤伸一
	15	兵庫	香美町	小代区新屋	近藤伸一
	15	兵庫	三木市	三木山森林公園	川瀬 真次
	15	兵庫	宍粟市	波賀町 原 不動の滝 15:00	茂見 節子
	15	兵庫	香美町	村岡区大笹	中川真美子
	15	兵庫	宍粟市	音水溪谷	茂見節子
	15	兵庫	豊岡市	下鉢山 19時ごろ	高橋 信
	15	兵庫	朝来市	立脇 19時ごろ	尾崎真也
15	兵庫	香美町	村岡区和池 木の殿堂周辺 複数	佐藤邦夫	
16	兵庫	豊岡市	目坂森林公園	稲葉一明	
16	兵庫	朝来市	立脇 16:20	尾崎真也	
16	兵庫	香美町	香住区沖浦 18:23	永井英司	
16	兵庫	朝来市	八鹿町三谷 19時過ぎ	維田浩之	
16	兵庫	たつの市	御津町朝臣 みはらしの森 17:00	茂見節子	
16	福島	南相馬市	小高区吉見	岡嶋幹雄	
17	京都	宮津市	宮村 旭ヶ丘 18:30	山本千代	
17	兵庫	豊岡市	日高町上石 自宅裏 1頭 18:30	菅村定昌	
18	東京	三鷹市	井の頭公園 18:45	野口明美	
19	兵庫	神戸市	北区、南五葉児童館	吉岡朋子	
19	兵庫	神戸市	西区神出町 雌岡山 10:00 多数	瓜生隆宏	
21	宮城	蔵王町	青南山	清水哲哉	
22	石川	白山市	白峰クロスカントリー競技場 18:30	江田敏昭	
24	兵庫	神戸市	東灘区西岡本 5時半	松金知香	
24	兵庫	加東市	東古瀬 平池公園 1♂のみ	佐藤邦夫	
25	兵庫	朝来市	立脇 17時多数	尾崎真也	
25	兵庫	神戸市	○ 西区井吹台東町	吉岡朋子	
27	兵庫	朝来市	立脇 ここ数年で最多の発生と思われる(初鳴きは7月9日)	近藤伸一	
28	京都	京丹後市	曾根 道の駅京丹波味夢の里周辺 19:00頃 多数	山本千代	
29	兵庫	神戸市	須磨区竜が台 1頭 19:00	瓜生隆宏	
29	奈良	宇陀市	榎原松牧 平成榎原子供のもり公園 16時半 曇 2♂鳴き声	宮武頼夫	
29	兵庫	江府町	鍵掛峠 最盛期で多数	永嶋嘉之	
29	岡山	真庭市	上徳山 最盛期で多数	永嶋嘉之	
30	京都	宮津市	宮村 スーパークアヤ前の山 18:55 数匹	山本千代	
8	2	石川	金沢市	香林坊 18:40	江田敏昭
	3	兵庫	神戸市	東灘区住吉山手 6時頃	松金知香
	4	石川	珠洲市	正院町 18:00頃	江田敏昭
	5	兵庫	朝来市	立脇 18:30	尾崎真也
	9	兵庫	神戸市	○ 中央区北長狭通 初鳴き・鳴きおさめ	浅田 卓

表1 続き (○初鳴き, ●鳴きおさめ).

11	兵庫	三木市	三木山森林公園 鳴いているが少なくなった	川瀬真次
11	兵庫	新温泉町	久谷 15:30	尾崎真也
12	兵庫	宝塚市	宝塚市産壇 5:10	松金知香
14	奈良	橿原市	木原町耳成山 午後5時10分~20分 ♀2-3	宮武頼夫
14	奈良	橿原市	新賀町220-1 午後6時10分 1♂ 若干涼しかったので耳成山から移動して来た個体と思われる	宮武頼夫
17	大阪	枚方市	枚方市伊加賀北町 当地では今年初鳴き、移動個体と思われる。	植田義輔
20	兵庫	朝来市	立脇 声が小さくなってきました 18:30	尾崎真也
22	兵庫	三木市	●三木山森林公園	川瀬真次
24	京都	福知山市	猪崎500 頭 数頭しか鳴いていません	山段眞彦
25	兵庫	朝来市	上八代 18:00	近藤伸一
25	兵庫	篠山市	網掛 18 時頃 お盆以来久しぶりに少し鳴く	河井典子
26	岡山	吉備中央町	●植田西	藤本 出
27	兵庫	神戸市	●西区井吹台東町	吉岡朋子
28	兵庫	朝来市	●立脇 27日 17:49~18:39の間、28日 5:25~5:26の間に鳴いたが、以降鳴かない	近藤伸一
28	奈良	生駒市	上町 長弓寺 18:00	北村梵鬼
29	京都	宮津市	菅原 18:20 1頭だけの弱々しい音が遠くの山から聞こえる。周りかとも静かなのでよく響く。	山本千代
30	京都	宮津市	須津	笠井裕代
30	兵庫	豊岡市	駄坂 夕方に裏で鳴いている	高橋 信
2	京都	宮津市	須津倉橋山 18:00	笠井裕代
2	京都	福知山市	猪崎 18:15 久しぶりに鳴きました。1頭ですが、力強く鳴いていました。	山段眞彦
4	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野(神鍋山) 14:41 晴れ、天候変化の兆候なし1個体(鳴き声)	植田義輔
5	京都	福知山市	字猪崎 午後5時25分	山段妙壽子
7	京都	宮津市	須津 倉橋山 5:27	笠井裕代
7	兵庫	豊岡市	●但東町植田●5:53 1頭が2回だけ鳴く 違かったが2回目は待ち構えて確認	永井英司
9	千葉	長南町	長生部 8/30 頃から聞いていなかった。晴れたせい?	三橋陽子
19	山形	小国町	小国町榎崎峠。1頭; 同地での今年の鳴き始めは7月中旬、8月18日にはほぼ終息していた	永嶋嘉之
10	東京	三鷹市	玉川上水緑道 17時過ぎ しばらく耳にしなかったがこの時期に?とびっくり	野口明美
27	京都府	福知山市	夜久野高原	金谷栄子

6. クマゼミ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
6	27	兵庫	神戸市	灘区新在家南町 1個体 10:00 2回鳴く	吉田浩史
1	奈良	橿原市	南山町 橿原市昆虫館第二駐車場 13:26 15分以内で1♂羽化その後7月18日までに3ex 羽化	林 太郎	
2	大阪	大阪市	天王寺区真法院町の五条宮	松下宗嗣	
3	兵庫	高砂市	沖浜町	竹内 隆	
5	兵庫	神戸市	中央区諏訪山町 クマゼミがアリの襲撃を受けていた。	吉岡英二	
5	兵庫	神戸市	須磨区守町 脱皮後のクマゼミを確認	大嶋道弘	
5	大阪	豊中市	南桜塚1丁目 鳥に追われるクマゼミを確認	大嶋道弘	
6	兵庫	神戸市	●西区井吹台東町 朝3匹が鳴く	吉岡朋子	
6	兵庫	神戸市	●中央区諏訪山町 3匹鳴く	吉岡英二	
6	大阪	枚方市	枚方上之町 初鳴き1個体(鳴き声)	植田義輔	
7	大阪	大阪市	●生野区民センターで一声(7月5日に寝屋川市の知人が脱皮に遭遇)	金子留美子	
7	兵庫	姫路市	青山南 1♂	内藤親彦	
7	兵庫	宝塚市	鹿塚 突然 8:00 今日からわんさか鳴いています	松金知香	
7	大阪	大阪市	中央区長堀橋 8:00	河井 周	
8	兵庫	神戸市	●須磨区菟が台 14:00 1頭	瓜生隆宏	
8	兵庫	たつの市	室津 1♂	内藤親彦	
8	大阪	吹田市	藤白台2丁目 8:30	高橋 耕二	
8	兵庫	神戸市	中央区港島ポートアイランド 何度が鳴く。7月7日も鳴く。昨年は6月末には鳴いていたので今年は遅い。	八田康弘	
8	大阪	摂津市	●三宅柳田小学校付近	金子留美子	
9	奈良	橿原市	新賀町 9:00 1♂	宮武頼夫	
9	兵庫	西宮市	●飯島西宮北山駅北北西徒歩10分	伴 信彦	
9	兵庫	神戸市	●垂水区西舞子	浅田 卓	
9	奈良	橿原市	南山町 橿原市昆虫館第二駐車場 13:00 ♀	林 太郎	
9	大阪	堺市	●堺区東雲西町一丁目 阪和堺市駅前 9:30分 2♂	林 太郎	
10	兵庫	神戸市	灘区 神戸大学 私は今日からですが、学生は3日前から聞いたといっています。	竹田真木生	
10	兵庫	明石市	二見町東二見 複数	佐藤邦夫	
11	兵庫	宝塚市	●平井 7:45	齋藤泰彦	
11	兵庫	伊丹市	寺本 9:00	河井典子	
11	兵庫	神戸市	中央区北長狭通	浅田 卓	
11	大阪	豊中市	服部元町 朝 初鳴きではない	久永洋子	
11	兵庫	神戸市	中央区臨浜海岸通り	中川貴美子	
13	兵庫	豊岡市	気比姫神社 15:00	正木詔一	
13	兵庫	三木市	三木山森林公園	川瀬真次	
14	兵庫	丹波市	春日町七日市道の駅あばちゃん里 7:09	永井英司	
14	京都	福知山	猪崎 午前8時半	山段眞彦	
14	兵庫	丹波市	柏原町柏原 丹波農政局 8:37	永井英司	
15	京都	福知山市	興 午前8時	大槻 浩	
16	兵庫	たつの市	●御津町黒崎 8時頃	茂原 節子	
16	兵庫	神戸市	●須磨区菟が台 9時多数 圧倒的	瓜生隆宏	
17	兵庫	芦屋市	松ノ内町、東灘区岡本、住吉本町 5:30 頃	松金知香	
20	兵庫	神戸市	西区岩岡町 5:40 かなり大台唱始まる	近藤伸一	
20	兵庫	丹波市	柏原町柏原 8:45	河井 周	
21	兵庫	神戸市	●北区有野町唐櫃 8:40	河村幸子	
21	兵庫	篠山市	●網掛○ 10:00	河井典子	
22	兵庫	豊岡市	祥雲寺 コウノトリの郷公園 7:50	高橋 信	
23	兵庫	多可町	× 中区菟屋が山周辺 まだ鳴き声を聞けない	近藤伸一	
25	兵庫	神戸市	灘区 神戸大学 本日爆発	竹田真木生	
28	京都	宮津市	上町 10:50 1頭 宮津市あまり記録がないのでは?	山段眞彦	
28	京都	京都市	東山区五条橋東本願寺 大谷本廟 11:15 頃 多数	山本千代	
29	岡山市	吉備中央町	上田西 10年前はいなかったのに、今年はミンミンゼミより先に声を聴きました	藤本 出	
29	京都	京丹後市	●網野町掛津○ 7時30分 自宅付近で	松尾秀行	
29	奈良	宇陀市	●橿原校舎 平成榎原子供のもり公園 午前午後ともよく鳴いていた	宮武頼夫	
29	奈良	舞鶴市	倉谷 9:20	高橋安奈	
31	兵庫	朝来市	●立脇 8:15 1個体	近藤伸一	

3	兵庫	丹波市	柏原町柏原 柏原庁舎 7時	尾崎真也	
4	京都	宮津市	●宮村 天橋園内 9:00 過ぎ 1頭	山本千代	
4	兵庫	朝来市	和山山町和山山 10:30 1個体	植田義輔	
5	兵庫	豊岡市	日高町野々庄 12:30 1個体	植田義輔	
5	京都	宮津市	須津 大川神社午前8時	笠井裕代	
6	兵庫	豊岡市	但東町西谷	藤本 恭子	
7	兵庫	豊岡市	京町 裏山でうるさいほど、昔はこんなことなかった。	正木詔一	
14	兵庫	豊岡市	●但東町相田 10:35	永井英司	
16	兵庫	神戸市	●東灘区岡本 阪急岡本駅南 1個体 16日までは鳴いていたが、19日以降聞いていない。17、18日は未確認。	吉田浩史	
20	兵庫	朝来市	●立脇 10:20 朝来の家でのクマゼミは今年初	尾崎真也	
22	兵庫	神戸市	●灘区備後町 1個体	吉田浩史	
24	兵庫	三木市	三木山森林公園 よく鳴いている	川瀬真次	
25	兵庫	篠山市	東古佐 まだよく鳴いている	河井典子	
25	兵庫	神戸市	●灘区友田町 1個体	吉田浩史	
29	兵庫	明石市	二見町東二見 1♂のみ	佐藤邦夫	
1	兵庫	神戸市	●須磨区菟が台 8:30 まだ多数鳴いている	瓜生隆宏	
2	大阪	大阪市	●西区鶴公園 9時過ぎ ♀2-3 頭? 1頭で数回? 鳴く。	宮武頼夫	
2	奈良	橿原市	●新賀町 8時前 1♂が数回鳴いた。その後、3日~5日は全然聞いていないので、最後だった可能性がある。	宮武頼夫	
3	兵庫	朝来市	●立脇 11:30	近藤伸一	
3	兵庫	明石市	●大久保町 少なくなった	久保弘幸	
4	兵庫	神戸市	●西区井吹台東町 2個体?	吉岡朋子	
4	兵庫	三木市	●三木山森林公園 1匹少し鳴く	川瀬真次	
6	石川	金沢市	有松 13:00 頃	江田敏昭	
6	兵庫	篠山市	●東古佐	河井周・典子	
9	奈良	橿原市	●南山町 橿原市昆虫館 第二駐車場 10:30 数回鳴いた	林 太郎	
24	兵庫	明石市	●大久保町高丘。しばらく聞かなかったがこの日1日のみ	久保弘幸	
10	4	大阪	枚方市	●枚方上之町 1個体(鳴き声、3回鳴く) 12:30 晴。	植田義輔

7. アブラゼミ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
2	兵庫	明石市	●大久保町高丘		久保弘幸
3	兵庫	姫路市	●夢前町塚本		下山早苗
3	兵庫	高砂市	沖浜町		竹内 隆
4	兵庫	宝塚市	●平井 19:04		齋藤泰彦
6	兵庫	神戸市	●西区井吹台東町 1匹が鳴く		吉岡朋子
10	兵庫	姫路市	青山南 夕方 羽化		内藤親彦
13	京都	京丹後市	網野町木津		高橋 信
13	京都	福知山市	猪崎 18:40 頃 早いように思います		山段眞彦
13	兵庫	三木市	三木山森林公園		川瀬真次
14	大阪	枚方市	伊加賀南町 1個体(鳴き声) 確認		植田義輔
15	京都	宮津市	須津 8:16		笠井裕代
15	兵庫	神戸市	●区有野台 夕方		八田康弘
15	宮城	村田町	●城山		清水哲哉
16	兵庫	たつの市	●御津町黒崎 8時頃		茂原 節子
16	兵庫	豊岡市	●豊岡市三宅中嶋神社 16時半		高橋 信
17	兵庫	豊岡市	但東町相田 抜け殻		永井英司
17	岡山	吉備中央町	吉備中央町上田西 成虫目撃		藤本 出
17	山形	山形市	蔵王半郷、まだ鳴かないが羽化したオスを1頭目撃		永嶋嘉之
17	京都	宮津市	●京街道 8:50		山本千代
17	京都	豊岡市	●祥雲寺 コウノトリの郷公園西公開 16時過ぎ		高橋 信
17	兵庫	宝塚市	仁川高台 18時頃		松金知香
18	兵庫	篠山市	東古佐		河井 周
19	兵庫	神戸市	●西区岩岡町 多数鳴く		近藤伸一
19	兵庫	丹波市	山南町阿草 12:10		永井英司
19	兵庫	神戸市	●西区神出町 めっこうファーム 15:00 多数		瓜生隆宏
19	岡山	吉備中央町	吉備中央町上田西		藤本 恭美
20	岡山	吉備中央町	●吉備中央町上田西		藤本 出
20	宮城	川崎町	前川		清水哲哉
20	宮城	名取市	高館川		清水哲哉
20	兵庫	朝来市	●立脇		近藤伸一
20	兵庫	明石市	●二見町東二見 複数		佐藤邦夫
23	兵庫	多可町	●中区菟屋が山 数頭鳴く		近藤伸一
23	兵庫	朝来市	●立脇 17:45		尾崎真也
24	兵庫	神戸市	●中央区下山手通 セントミカエル教会 16:30 複数		瓜生隆宏
24	兵庫	加東市	東古瀬 平地公園 複数		佐藤邦夫
29	京都	京丹後市	久美浜町神崎 ミルク工房 駐車場 12:30 多数		山本千代
29	京都	宮津市	万町 桜山公園 15時 多数		山本千代
29	奈良	宇陀市	●橿原校舎 平成榎原子供のもり公園 午前午後ともよく鳴いていた		宮武頼夫
30	京都	宮津市	●宮村 スーパーフクヤ前の山 18:55 多数大合唱		山本千代
14	奈良	橿原市	●木原町耳成山 午後5時10分~20分		宮武頼夫
16	兵庫	三田市	木器 15時		松金知香
18	兵庫	朝来市	●立脇 オオカマキリがアブラゼミを捕獲、暴れるセミを食へ始めた		近藤伸一
20	兵庫	朝来市	●立脇 18:30 だんだん声が少なくなってきた		尾崎真也
24	兵庫	三木市	●三木山森林公園 よく鳴いている		川瀬真次
25	兵庫	篠山市	●東古佐 まだよく鳴いている		河井典子
26	兵庫	明石市	●二見町東二見 複数		佐藤邦夫
27	京都	福知山市	●中ノ御堂公園 13:30 数頭がまだうるさく鳴いている		山本千代
28	奈良	生駒市	●上町 長弓寺 18:00		北村梵鬼
28	兵庫	鹿あわし市	●八木養堂上 淡路ファームパーク 多数		佐藤邦夫
29	兵庫	朝来市	●立脇 18:30		近藤伸一
30	兵庫	豊岡市	●駄坂 夕方に裏で鳴いている 18時		高橋 信
31	兵庫	豊岡市	●中郷		近藤伸一
31	兵庫	朝来市	●和山山町御堂		近藤伸一
2	大阪	大阪市	●西区鶴公園 9時過ぎ 何回か鳴き、成虫かなり目撃		宮武頼夫
3	京都	福知山市	●猪崎 12:30		山段眞彦
3	兵庫	明石市	●大久保町 少なくなった		久保弘幸
4	兵庫	神戸市	●垂水区桃山台		吉岡朋子
4	兵庫	神戸市	●西区井吹台東町		吉岡朋子
4	兵庫	豊岡市	●日高町栗栖野(神鍋山) 複数鳴き声		植田義輔
6	京都	京都市	●左京区松ヶ崎 葉山間部 数匹		那倉智行

表1 続き (○初鳴き, ●鳴きおさめ).

6	兵庫	明石市	人丸神社	新井雅夫
7	東京	府中市	東京農工大のキャンパス	河村幸子
8	三重	鈴鹿市	高岡台	前川和則
9	京都	福知山市	猪崎 風前の灯という感じで, 弱弱しい	山段眞彦
11	兵庫	三木市	● 三木山森林公園	川瀬眞次
12	宮城	蔵王町	北原尾	清水哲哉
13	京都	京都市	左京区松ヶ崎 雄: 数匹の鳴き声 雌: 数匹目視確認	那倉智行
13	兵庫	神戸市	● 中央区中山手通	浅田 卓
15	兵庫	神戸市	西区井吹台 まだ鳴いている	吉岡朋子
15	兵庫	神戸市	灘区 王子動物園	吉岡朋子
17	京都	福知山市	猪崎三段池 1頭だけですが, 力強く鳴きました 13:00	山段眞彦
18	三重	鈴鹿市	高岡台 (標高 30m) 17:00 ~ 台風一過,	前川和則
18	兵庫	篠山市	● 東古佐	河井周・典子
24	兵庫	豊岡市	出石川左岸三木堤外 1頭鳴く	高橋 信
27	奈良	橿原市	上品寺町飛鳥川左岸 (辰巳池東側) サクラ並木 15:58 1♂	宮武頼夫
29	奈良	橿原市	南浦町 (香見山) 12 時頃 飛んでいく姿確認	林 太郎
9	山形	西川町	大井沢中村 1頭 朝日連峰の核心部で季節外れの声を聞く	永嶋嘉之
10	東京	府中市	幸町 東京農工大農学部 午前 11 時	河村幸子

8. エソゼミ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
7	14	宮城	白石市	白石スキー場	清水哲哉
14	宮城	七ヶ宿町	長老湖	清水哲哉	
25	宮城	仙台市	太白区坪沼	清水哲哉	
25	山形	大石田町	黒滝	永嶋嘉之	
25	兵庫	村山市	白鳥	永嶋嘉之	
27	山形	飯豊町	添川	永嶋嘉之	
27	山形	小国町	小玉川	永嶋嘉之	
28	山形	山形市	千歳山	永嶋嘉之	
28	京都	与謝野町	◎ 与謝 与謝峠頂上付近 7:40 今年初めて聞きました	山段眞彦	
8	4	兵庫	養父市	ハチ高原 1 個体 14 時頃短時間鳴く	近藤伸一
24	兵庫	養父市	鉢伏高原 1♂単独鳴き 8:45 前後	嶋田 勇	
9	4	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野 (神鍋山) 1 個体鳴き声	植田義輔
10	2	山形	寒河江市	幸生 1 頭	永嶋嘉之

9. コエソゼミ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
7	22	北海道	別海町	上風連	永嶋嘉之
30	兵庫	新温泉町	上山高原 杉の植林地 11:58	山本一幸	
8	1	福島	南会津町	藤生	近藤伸一
24	兵庫	養父市	鉢伏山東尾根 8:45 前後 1♂単独鳴き	嶋田 勇	
9	29	北海道	浜中町	茶内〜霧多布 少なくとも 4♂	永嶋嘉之

10. ミンミンゼミ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
7	14	山形	南陽市	金山, 羽化後の個体が飛び去る	永嶋嘉之
15	福島	南相馬市	小高区吉見	岡嶋幹雄	
15	宮城	村田町	◎ 城山	清水哲哉	
16	山形	山形市	◎ 蔵王半郷, 推定 1 個体, 3 回	永嶋嘉之	
17	山形	山形市	蔵王半郷, 朝に複数個体がさかんに鳴く	永嶋嘉之	
17	兵庫	朝来市	◎ 立脇 10:25	尾崎真也	
18	東京	小金井市	◎ 15:45	野口朝美	
20	兵庫	豊岡市	京町 7:30	正木詔一	
20	宮城	名取市	高館川	清水哲哉	
24	兵庫	豊岡市	◎ 但東町相田 5:05	永井英司	
25	兵庫	三木市	◎ 三木山森林公園	川瀬眞次	
27	京都	京丹後市	網野町磯 11 時〜11 時 30 分頃, 浅茂川から磯地区にかけての海岸沿いの山林で複数個体の鳴き声を確認。	松尾秀行	
28	兵庫	篠山市	◎ 東古佐 12:30	河井典子	
28	京都	福知山市	◎ 行橋 1 頭 7:20	山段眞彦	
28	兵庫	神戸市	◎ 須磨区須磨/パリオの桶 1 頭 8:30 こんな所で意外!	瓜生隆宏	
28	兵庫	豊岡市	祥雲寺 コウノトリの郷公園 14 時ごろ	高橋 信	
29	兵庫	養父市	◎ 八鹿町三谷	維田浩之	
29	兵庫	豊岡市	◎ 但東町相田 7:20 今年 2 回目の 2 回目	永井英司	
29	奈良	宇陀市	宇陀市榎原給付 平成榛原子供のもり公園 11 時ごろ 曇 1♂鳴き声	宮武頼夫	
30	兵庫	新温泉町	◎ 久斗山 集落上の雑木林 午前 9 時ごろ	山本一幸	
30	兵庫	新温泉町	シワカラの滝入口 午前 10 時ごろ	山本一幸	
30	兵庫	豊岡市	◎ 但東町西谷 11:30	藤本恭子	
30	兵庫	豊岡市	◎ 香住 三開山 17 時ごろ	高橋 信	
30	兵庫	朝来市	◎ 立脇 9:00	近藤伸一	
1	兵庫	神戸市	◎ 北区有野台	八田康弘	
1	京都	宮津市	◎ 須津 倉梯山 須津 6:24	笠井裕代	
2	千葉	長南町	◎	三橋陽子	
3	兵庫	神戸市	◎ 東灘区鴨子ヶ原, 住吉山手, 西岡本 18:00	松金知香	
3	兵庫	宍粟市	◎ 中国道安富パーキング 9:00	尾崎真也	
4	兵庫	養父市	◎ 出会	近藤伸一	
4	兵庫	養父市	◎ 関宮	近藤伸一	
6	兵庫	神戸市	◎ 垂水区西舞子	浅田 卓	
6	兵庫	朝来市	◎ 立脇 7:10	尾崎真也	
10	京都	福知山市	◎ 池部, 牧	山段眞彦	
12	京都	綾部市	◎ 高津町 15:00	山段弥寿子	
13	京都	福知山市	◎ 猪崎 7:07	山段弥寿子	
13	兵庫	新温泉町	◎ 久谷 8:50	尾崎真也	
13	兵庫	豊岡市	◎ 目坂 奈佐森林公園	稲葉一明	
15	京都	宮津市	◎ 京街道 智源寺 小雨の中 17 時 1 頭	山本千代	
15	兵庫	神戸市	◎ 灘区備後町 JR 六甲道駅南 1 個体のみ, 神戸市市街地にはほとんどいない	吉田浩史	
16	兵庫	三田市	◎ 水鏡 15 時	松金知香	
24	兵庫	三木市	◎ 三木山森林公園 よく鳴いている	川瀬眞次	
25	兵庫	篠山市	◎ 東古佐 まだよく鳴いている	河井典子	
28	大阪	枚方市	◎ 岡山手町 ※当地では今年初鳴き, 移動個体と思われる。	植田義輔	
28	奈良	生駒市	◎ 上町 18:00 長弓寺	北村敦茂	

8	31	石川	珠洲市	◎ 正院町 15:00	江田敬昭
31	兵庫	神戸市	◎ 西区井吹台東町	吉岡朋子	
2	大阪	大阪市	◎ 西区鶴公園 9 時過ぎ 1♂ しばらくあちこちへ移り鳴いていた	宮武頼夫	
2	京都	福知山市	◎ 猪崎 12:30	山段眞彦	
3	京都	宮津市	◎ 宮村 (旭ヶ丘) 9 時半と 16 時 1 頭	山本千代	
3	兵庫	神戸市	◎ 中央区加納町 東遊園地公園 1 個体。	吉田浩史	
3	兵庫	明石市	◎ 大久保町	久保弘幸	
4	兵庫	朝来市	◎ 上八代 多数鳴く	近藤伸一	
4	兵庫	神戸市	◎ 灘区備後町 JR 六甲道駅南 1 個体。8 月 15 日とほぼ同じ場所。他の日には聞いていない	吉田浩史	
4	兵庫	神戸市	◎ 灘区八幡町 六甲八幡神社の森 1 個体	吉田浩史	
4	兵庫	豊岡市	◎ 日高町栗栖野 (神鍋山) 複数鳴き声	植田義輔	
6	兵庫	京都市	◎ 左京区松ヶ崎 某山間部 多数	那倉智行	
6	兵庫	神戸市	◎ 北区八多町上津 11:00 結構あちこちで鳴いている	瓜生隆宏	
7	兵庫	神戸市	◎ 東灘区住吉山手 7 時まだ力強く鳴いています	松金知香	
7	東京	府中市	◎ 東京農工大のキャンパス 大合唱	河村幸子	
8	兵庫	神戸市	◎ 西区井吹台	吉岡朋子	
8	兵庫	神戸市	◎ 中央区三宮東遊園地	新井雅夫	
9	京都	福知山市	◎ 猪崎	山段眞彦	
10	兵庫	南あわじ市	◎ 阿万壺屋町 (国立淡路青少年交流の家)	吉岡朋子	
11	兵庫	養父市	◎ 森 多数鳴く	近藤伸一	
11	兵庫	養父市	◎ 長野 多数鳴く	近藤伸一	
11	兵庫	神戸市	◎ 中央区北長狭通	浅田 卓	
13	京都	京都市	◎ 左京区松ヶ崎 雄 雌 共に多数	那倉智行	
13	兵庫	豊岡市	◎ 京町 14 日	正木詔一	
14	兵庫	豊岡市	◎ 西谷 まだまだかばっています	藤本恭子	
14	京都	京丹後市	◎ 弥栄町鳥取	山段眞彦	
15	兵庫	神戸市	◎ 灘区 王子動物園	吉岡朋子	
17	兵庫	養父市	◎ 八鹿町三谷 9 時ごろ, まだ鳴いていた。正午は, 少し控えめに, 遠くで鳴いている。	維田浩之	
18	兵庫	豊岡市	◎ 京町 台風が去って鳴いている	正木詔一	
18	京都	宮津市	◎ 須津 日本冶金 (株) 大江山製造所敷地 17:00	笠井裕代	
9	18	兵庫	◎ 朝来市 多々良木 複数鳴いている	近藤伸一	
18	兵庫	神戸市	◎ 井吹台東町 2 匹	吉岡朋子	
18	兵庫	佐用町	◎ 佐用町昆虫館	八田康弘	
19	山形	山形市	◎ 蔵王半郷 終鳴き間近	永嶋嘉之	
20	山形	山形市	◎ 市内では 20 日前後を最後に (留守が多かったですが) 聞こえなくなりました。	永嶋嘉之	
20	京都	京都市	◎ 左京区松ヶ崎 多数	那倉智行	
21	兵庫	佐用町	◎ 佐用インター出口	吉岡朋子	
22	兵庫	朝来市	◎ 立脇 12:00 2 頭	近藤伸一	
22	兵庫	豊岡市	◎ 祥雲寺 コウノトリの郷公園	高橋 信	
22	兵庫	豊岡市	◎ 京町	正木詔一	
23	京都	宮津市	◎ 須津 大川神社 キンモクセイの香る朝	笠井裕代	
23	京都	宮津市	◎ 宮村 (旭ヶ丘) この日までは 1 頭鳴いているのを確認。(24、25 日はいなかった。26 日以降は聴いていません。)	山本千代	
23	兵庫	豊岡市	◎ 但東町相田 11:00 ごろ自宅での聴きおさめ	永井英司	
24	京都	福知山市	◎ 猪崎 13:15 三段池公園 1 頭	山段眞彦	
24	兵庫	豊岡市	◎ 京町	正木詔一	
24	兵庫	明石市	◎ 大久保町高丘	久保弘幸	
25	兵庫	神戸市	◎ 西区榎谷町榎谷	吉岡朋子	
25	富山	黒部市	◎ 黒部 榎平	河井周・典子	
26	兵庫	豊岡市	◎ 京町 朝霧が晴れると同時に	正木詔一	
27	兵庫	神戸市	◎ 北区唐櫃台 1-1 h=300m 午前中 プラムの木で	竹田真木生	
27	宮城	村田町	◎ 城山	清水哲哉	
27	兵庫	丹波市	◎ 柏原町柏原 9:30 ごろ	永井英司	
28	兵庫	三木市	◎ 三木山森林公園	川瀬眞次	
29	兵庫	豊岡市	◎ 城崎町来日岳	新井雅夫	
30	兵庫	香美町	◎ 小代区秋岡小代浅谷	立若幸雄	
30	兵庫	豊岡市	◎ 京町	正木詔一	
30	兵庫	丹波市	◎ 柏原町柏原 柏原音倉 13:35 一匹力強くなく	尾崎真也	
30	兵庫	豊岡市	◎ 日高町, 神鍋噴火口の登山道一帯のコナラ等の雑木林 正午ごろまだ元気に鳴いていました	山本一幸	
1	兵庫	篠山市	◎ 奥畑 銚子ダム 午前 11 時から 15 時頃まで	大塚剛二	
2	兵庫	豊岡市	◎ 京町	正木詔一	
2	山形	寒河江市	◎ 幸生 1 頭	永嶋嘉之	
2	山形	大蔵村	◎ 肘折 1 頭 息も絶え絶えの間延びした声でした。	永嶋嘉之	
8	8	兵庫	篠山市	◎ 東古佐 午前 10 時ごろに聞いたのが最後	河井周・典子
8	8	兵庫	養父市	◎ 八鹿町三谷 昼前くらいからまだ鳴いている	維田浩之
10	10	兵庫	豊岡市	◎ 香住	高橋 信
11	兵庫	豊岡市	◎ 中陰	正木詔一	

11. ツクツクボウシ

月	日	都府県	市町	場所, 状況	観察者
7	15	千葉	長南町	◎	三橋陽子
22	兵庫	朝来市	◎ 立脇 17:30	近藤伸一	
25	宮城	名取市	◎ 高館川	清水哲哉	
28	岡山	備中央町	◎ 上田西 雷雨が上がって, 一声鳴いただけだが	藤本 出	
30	岡山	津山市	◎ 津山市小田中 1 頭	永嶋嘉之	
30	兵庫	豊岡市	◎ 香住 三開山 16:30	高橋 信	
31	兵庫	たつの市	◎ 御津町黒崎 (自宅) 10:30	茂見節子	
31	兵庫	姫路市	◎ 西延夫	下山早苗	
1	福島	会津若松市	◎ 北会津	永嶋嘉之	
1	京都	福知山市	◎ 猪崎 午前 8 時半	山段弥寿子	
2	兵庫	姫路市	◎ 青山南	内藤頼彦	
4	兵庫	新温泉町	◎ 久谷 新桃観トンネル入口付近 午前 8 時半	山本一幸	
4	兵庫	加古川市	◎ 加古川河口付近 18:50	野口朝美	
5	兵庫	豊岡市	◎ 祥雲寺 コウノトリの郷公園 15 時ごろ	高橋 信	
5	兵庫	朝来市	◎ 朝来市立脇 18:30	尾崎真也	
5	東京	三鷹市	◎ 三鷹市井口 13:00	近藤伸一	
5	兵庫	篠山市	◎ 東古佐 朝	河井周・典子	
6	奈良	橿原市	◎ 橿原市南山町 南山 (橿原市昆虫館の東) 晴 11:30 頃 1♂何回か鳴き続けた	宮武頼夫	
6	兵庫	豊岡市	◎ 但東町西谷 床尾林道 5:10	永井英司	
6	兵庫	神戸市	◎ 須磨区竜が台 10:30 1 頭	瓜生隆宏	

表1 続き (○初鳴き, ●鳴きおさめ).

7	兵庫	三木市	◎三木山森林公園	川瀬真次
8	兵庫	神戸市	◎北区有野台	八田康弘
8	兵庫	豊岡市	◎但東町相田 5:45	永井英司
10	京都	宮津市	◎須津 倉梯山 5:36	笠井裕代
11	兵庫	豊岡市	高屋	正木詔一
11	兵庫	豊岡市	大磯町 9 時半	稲葉一明
11	大阪	枚方市	◎枚方上之町	植田義輔
12	兵庫	新温泉町	久谷 17:30	尾崎真也
13	兵庫	豊岡市	京町 6:30	正木詔一
14	兵庫	豊岡市	◎但東町相田 6:00	永井英司
14	兵庫	宝塚市	◎高司 12 時半頃	松金知香
14	奈良	橿原市	木原町耳成山 17 時 10 ~ 20 分 2 - 3 頭	宮武頼夫
16	兵庫	佐用町	柳田	野村智範
16	兵庫	三田市	木器 15 時	松金知香
16	兵庫	丹波市	柏原町柏原 柏原総合庁舎 16:54	永井英司
16	京都	福知山市	夜久野町小倉	永井英司
17	兵庫	神戸市	東灘区西岡本 5:45 頃	松金知香
20	石川	珠洲市	正院町	江田敏昭
20	兵庫	豊岡市	◎但東町西谷 10 時	藤本恭子
20	兵庫	養父市	◎八鹿町三谷	維田浩之
24	兵庫	三木市	三木山森林公園 よく鳴いている	川瀬真次
24	兵庫	神戸市	◎中央区北長狭通	浅田 卓
25	兵庫	篠山市	東古佐 まだよく鳴いている	河井典子
28	奈良	生駒市	生駒市上町 18:00 長弓寺	北村紘哉
28	兵庫	南あわじ市	八木養宜上 淡路ファームパーク 多数	佐藤邦夫
29	兵庫	丹波市	柏原町柏原 柏原庁舎 17:00	尾崎真也
30	兵庫	神戸市	中央区 相楽園	浅田 卓
2	兵庫	新温泉町	三谷 11:43 ヤマボウシの畑で	山本一幸
2	京都	福知山市	猪崎 12:30	山段眞彦
3	兵庫	明石市	大久保町 久保弘幸	久保弘幸
4	兵庫	朝来市	上八代 多数鳴く	近藤伸一
4	兵庫	養父市	森 多数鳴く	近藤伸一
4	兵庫	養父市	長野 多数鳴く	近藤伸一
4	兵庫	神戸市	垂水区桃山台	吉岡朋子
4	兵庫	神戸市	西区井吹台東町	吉岡朋子
4	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野 (神鍋山) 複数鳴き声	植田義輔
6	京都	京都市	伏見区桃山 某神社 多数大合唱	那倉智行
6	京都	京都市	左京区松ヶ崎 某山間部 多数	那倉智行
7	兵庫	神戸市	東灘区住吉山手 7 時 まだまだ力強く鳴いています	松金知香
7	兵庫	三木市	三木山森林公園 よく鳴いている	川瀬真次
7	東京	府中市	府中市東京農工大のキャンパス	河村幸子
8	三重	鈴鹿市	高岡台 登る所で鳴いていました	前川和則
9	京都	福知山市	猪崎	山段眞彦
9	石川	珠洲市	正院町 10:00 頃 快晴 一頭だけ、大声で鳴いてました	江田敏昭
9-10	兵庫	南あわじ市	阿万塩屋町 (国立淡路青少年交流の家)	吉岡朋子
10	兵庫	新温泉町	三谷 10:20 植栽用のヤマボウシの植えられた畑で 晴れ時々曇り	山本一幸
13	京都	京都市	松ヶ崎 雄 雌 共に多数	那倉智行
13	兵庫	豊岡市	豊岡市京町	正木詔一
13	兵庫	養父市	八鹿町三谷 18:00 頃 数は少ない	維田浩之
14	三重	鈴鹿市	高岡台 標高 30m	前川和則
14	兵庫	豊岡市	西谷 まだまだがんばっています	藤本恭子
14	京都	京丹後市	弥栄町鳥取	山段眞彦
15	兵庫	神戸市	灘区 王子動物園	吉岡朋子
15	兵庫	神戸市	中央区中山手通 (相楽園)	吉岡英二
15	三重	鈴鹿市	高岡台 蜘蛛の巣にかかったオスを採集	前川和則
18	兵庫	朝来市	多々良木 多数鳴いている	近藤伸一
18	兵庫	佐用町	佐用町昆虫館	八田康弘
18	兵庫	豊岡市	京町 台風が去ってが鳴いている	正木詔一
18	京都	宮津市	須津 日本冶金 (株) 大江山製造所敷地 17 時頃	笠井裕代
19	三重	四日市市	日永東三丁目 17:35 外気温 27℃	前川和則
20	京都	京都市	左京区松ヶ崎 多数	那倉智行
21	兵庫	神戸市	西区井吹台東町 2 匹	吉岡朋子
21	兵庫	佐用町	佐用インター出口	吉岡朋子
22	兵庫	豊岡市	祥雲寺 コウノトリの郷公園	高橋 信
22	兵庫	豊岡市	京町	正木詔一
23	京都	宮津市	須津 大川神社 キンモクセイの香る朝 11 時	笠井裕代
24	三重	鈴鹿市	高岡台 標高 30m 7:45 快晴、風弱く暑くなってきました	前川和則
24	京都	福知山市	猪崎 三段池公園 13:15 多数	山段眞彦
24	兵庫	豊岡市	京町	正木詔一
24	兵庫	明石市	大久保町高丘	久保弘幸
24	兵庫	三田市	有馬富士公園	吉岡朋子
25	兵庫	神戸市	西区井吹台	吉岡朋子
25	兵庫	神戸市	西区植谷町福谷	吉岡朋子
26	兵庫	丹波市	柏原町柏原 16:37	永井英司
26	兵庫	豊岡市	京町 朝露が晴れると同時に	正木詔一
26	兵庫	多可町	豊部	浅田 卓
26	奈良	橿原市	木原町耳成山 午前中 晴れ 2 匹	宮武頼夫
29	兵庫	豊岡市	城崎町来日岳	新井雅夫
29	奈良	橿原市	南浦町 (香具山) 11 時頃	林 太郎
29	兵庫	豊岡市	京町	正木詔一
29	兵庫	丹波市	氷上町井中 14:34	永井英司
30	三重	鈴鹿市	高岡台 標高 30m	前川和則
30	兵庫	豊岡市	日高町、神鍋噴火口の登山道一帯のコナラ等の雑木林、正午ごろまだ元気に鳴いていた	山本一幸
30	兵庫	加古川市	八幡町	久保弘幸
1	兵庫	神戸市	南小田	立岩幸雄
1	兵庫	加西市	網引	立岩幸雄
1	兵庫	篠山市	奥畑 罫子ダム午前 11 時から 15 時まで	大塚剛二
1	福井	おおい町		山段眞彦
3	宮城	仙台市	(9/27 まで多数確認 9/29 冷え込み鳴き声が減少、以降 10/3 まで少数が鳴く 10/4 再び冷え込み、しばらく鳴き声が途絶える)	清水哲哉
5	兵庫	豊岡市	日高町栗栖野 (神鍋山) 1 個体 (鳴き声)	植田義輔
7	兵庫	佐用町	昆虫館の裏山で一匹、弱々しく鳴いていました。	内藤親彦
7	奈良	橿原市	南山町 南山南側斜面 15:00 ころ 晴れ 1 匹	宮武頼夫

7	大阪	枚方市	●枚方上之町 1 個体 (鳴き声)	植田義輔
7	兵庫	豊岡市	但東町相田 10:00	永井英司
7	京都	宮津市	文珠二本松丹鉄トンネルの上 11:00	笠井裕代
8	東京	府中市	幸町 東京農工大農学部 15:00 1 匹 晴れ	河村幸子
8	山梨	早川町	早川町雨畑	立岩幸雄
8	兵庫	丹波市	氷上町油利 14 時頃	尾崎真也
9	兵庫	豊岡市	祥雲寺 コウノトリの郷公園 13 時ころ	高橋 信
9	三重	鈴鹿市	高岡台 晴れ、15:00 頃	前川和則
9	兵庫	神戸市	西区神出町南 まだ鳴いている 15:00	瓜生隆宏
9	神奈川	横浜市	緑区新治町新治市民の森	立岩幸雄
9	兵庫	三木市	●三木山森林公園 1 頭鳴いている	川瀬真次
9	兵庫	養父市	長野 数頭鳴く	近藤伸一
9	兵庫	篠山市	●東古佐 曇る頃に鳴いていたのが最後	河井周・典子
9	宮城	村田町	●城山 少数が鳴いたのを最後に鳴かなくなる。	清水哲哉
11	兵庫	三木市	志染町三津田 三木防災総合公園 元気な声	渡辺弥生
11	奈良	橿原市	南山町 南山 午後 1 時ころ 晴れ 2 匹が鳴く	宮武頼夫
17	宮城	柴田町	船岡城址公園 少数なく	清水哲哉
27	兵庫	朝来市	●立船 12:30 1 個体鳴く (16 日ぶり)	近藤伸一

12. チェッゼミ

月	日	都府県	市町	場所、状況	観察者
8	18	岡山	岡山市	◎北区御津中畑	藤本出
8	18	兵庫	三木市	◎三木山森林公園	大鶴貴美
8	21	兵庫	佐用町	三原	清水哲哉
8	22	兵庫	佐用町	佐用町昆虫館	清水哲哉
8	25	兵庫	篠山市	◎東古佐 11:30	河井典子
8	31	岡山	吉備中央町	◎植田西	藤本 出
9	2	京都	福知山市	市猪崎 12:30	山段眞彦
9	7	兵庫	三木市	三木山森林公園 よく鳴いている	川瀬真次
9	11	兵庫	篠山市	●東古佐 18・22 日にはもう確認できませんでした。	河井周・典子
9	13	京都	京都市	左京区松ヶ崎 数匹	那倉智行
9	14	京都	京丹後市	弥栄町鳥取	山段眞彦
9	24	京都	福知山市	猪崎 三段池公園 13:15 多数	山段眞彦
10	9	兵庫	三木市	三木山森林公園 鳴いているが少ない	川瀬真次
10	10	京都	京丹後市	京丹後市弥栄町鳥取 13:30 頃	山段眞彦
10	26	宮城	仙台市	青葉区葛岡公園 数頭鳴く	清水哲哉
11	3	宮城	仙台市	●青葉区葛岡公園 密度は低いがあちこちで鳴く (11/10 は確認できませんでした。)	清水哲哉

兵庫県におけるキマダラカメムシの分布

—文献記録と「NPO 法人こどもとむしの会」メーリングリストに寄せられた確認情報（2013 年）のまとめ及び現在の分布状況の推測—

植田 義輔¹⁾

はじめに

キマダラカメムシ *Erthesina fullo* (Thunberg, 1783) は、台湾・中国・東洋区に分布する種であるが、現在は日本では、九州・四国（愛媛県、徳島県）・本州（中国地方、近畿地方、愛知県、岐阜県、東京都）に分布している外来種である（高井・石川, 2012; 山田・中西, 2014; 奥田, 2017）。

本種は、スウェーデンの博物学者ツェンペリーが 1770 年代に長崎県の出島で採集し、1783 年に新種として記載した後、約 150 年間発見されなかったが、1934 年に長崎で再確認された（安永ほか, 1993; 大野, 1995）。そして、2000 年前後から分布域を北へ拡げ初め、現在では関東以北でもみられるようになった（長島, 2016）。

本種は、兵庫県では約 10 年前に初めて確認され（佐藤, 2008）、その後、県内での分布を拡大させつつあったが、本県に関する文献は多くはなく、分布状況が明らかになっていない。そこで、これまでに出版された文献とその抄録を掲載するとともに、2013 年に「NPO 法人こどもとむしの会」のメーリングリストに寄せられた確認情報と合わせて、兵庫県における本種の既知の分布を示した。さらに、これまでの記録と近隣の府県での分布・生息状況から、現在の兵庫県での分布を推測した。

兵庫県におけるキマダラカメムシの文献記録とその抄録

兵庫県におけるキマダラカメムシの文献上の記録は、長田（2017）が簡潔にまとめている。これによると文献数は県初記録を含めて 4 本と少なく、本種の兵庫県下での分布を文献だけで知ることは困難である。ただし、これらの文献には本種の確認状況が記載されており、本県に侵入した比較的初期の段階での生息状況を知ることができる。そこで、長田（2017）に未収録の文献と合わせて計 7 本の文献について、各文献の抄録を以下に掲載した。文献の配列順序は、本種の確認日が古いものから新しい順とした。

① 佐藤邦夫, 2008. キマダラカメムシを兵庫県で採集. 月刊むし, (454) : 30 - 31.

本報告は、兵庫県における本種の初記録であり、当時の確認状況が掲載されている。

[採集データ] たつの市龍野町富永 : 1 個体採集, 2008 年 7 月 4 日; 3 個体採集, 2008 年 10 月 1 日. 生態写真 2 点あり.

2008 年 7 月に本種 1 個体を採集するが、時間の制約で他個体を採せなかった。10 月に再調査したところ、たつの市役所から中川原公園、兵庫県たつの市庁舎にかけて本種は広く分布していた。本種の密度は中川原公園に植栽されたソメイヨシノの幹上で最も高く、幼虫もかなりの数が見られた。たつの市役所では建物の部屋内に侵入する個体もあった。

② 長島聖大, 2016. —伊丹に定着—キマダラカメムシ. いたこんニュース第 26 号, 13 (2) : 4.

キマダラカメムシの概説と、伊丹市における初確認データおよび 2011 年時点の生息状況が掲載されている。なお、生態写真 1 点（成虫）と白バック写真 1 点（幼虫）がある。

伊丹市昆虫館の収蔵資料と記録から、2010 年 9 月 16 日に伊丹市内在住者が採集して寄贈された標本があり、これが伊丹市での初確認となる。その翌年の 2011 年からは本種が好む環境（公園や街路樹として植えられているサクラやエノキなどの幹）では普通に見られるようになった。

③ 夏秋 優, 2012. 兵庫県尼崎市でのキマダラカメムシの記録. 大昆 Crude, (56) : 41.

尼崎市南塚口町で本種を採集・目撃した記録が掲載されている（その他、大阪昆虫同好会の会員が大阪府内で本種を目撃した記録もあわせて掲載されている）。

[採集・目撃データ] 尼崎市南塚口町 : 1 ♀ 採集, 2011 年 9 月 23 日; 1 ♀ 採集と 1 個体目撃, 2011 年 10 月 10 日; 2 ♀ 採集, 2011 年 11 月 23 日; 1 ♀ 採集, 2011 年 12 月 30 日. いずれも人家周辺での確認。生態写真 1 点あり.

なお、「本種はすでに大阪付近では広く分布している

¹⁾ Yoshisuke UEDA 大阪府枚方市

と思われるが、実際に分布が確認されている場所の記録を残しておくことが望ましいので、今後も本種の動向に注目しておきたい。」としている。

④ 森 正人, 2013. キマダラカメムシから分布拡散を考える. かんきょうかがくおおさかニュースレター *new*, (1) : 1. (表紙ページ)

2011年10月に赤穂郡上郡町の河原において、オニグルミの樹幹を歩いている本種の成虫・幼虫を複数確認したことが掲載されている。なお、生態写真が2点ある。

また、本種を含む4種の外来昆虫の分布拡大について概説し、本種が2000年頃から急激に分布を挙げたことについては、地球温暖化説ではなく、「種ごとに分布拡散の波というカリズムのようなものを持っていて、それに沿った現象のように思えます」と考察している。

⑤ 平野雅親, 2013. キマダラカメムシの分布拡大. 月刊むし, (509) : 44.

高速道路のサービスエリアで本種が確認されたことから、車に便乗して分布を拡大している可能性を示唆し、「本種の分布拡大の一例として」報告している。

[採集データ] 三木市三木サービスエリア (山陽自動車道) : 1 個体採集, 2012年9月27日. 標本写真1点あり。

さらに、筆者が1988年9月に、近畿地方よりも冬季にはるかに低温となる中国の北京市近郊で多数の本種を目撃した例をあげ、「本種の分布拡大は地球温暖化よりも人為的な要因が強いものと考えられる」と考察している。

⑥ 下山 孝, 2015. 分布を広げるキマダラカメムシの生態. *Nature Study*, 61 (2) : 2 - 4.

報文の大半は、大阪府池田市における本種の生態の観察記録であるが、兵庫県川西市において幼虫が確認されたことも記載されている。

[目撃データ] 川西市小戸 : 幼虫多数目撃, 2013年9月15日. (国道沿いに植栽されたハナミズキにて)

大阪における生活史、交尾と産卵の行動記録、天敵について掲載されている。なお、池田市で撮影された生態写真が3点ある。また、ハナミズキにおいて多くの幼虫が観察されたことや、成虫の小集団がみられて産卵が行われていたこと、さらに矢崎 (2012) の事例をあげて、ハナミズキが好適な寄主植物となっていることを示唆している。

最後に「分布を拡大する昆虫は増加や減少が激しいことがあり、同じ生活の仕方が続くとも限りません。分布を拡大した時期のキマダラカメムシの生態として、観察記録を残しておきます。」と結んでいる。

⑦ 長田庸平, 2017. 兵庫県芦屋市におけるキマダラカメムシの記録. *きべりはむし*, 40(1) : 40.

兵庫県におけるこれまでの文献記録を市町村レベルで記載するとともに、本種の記録がなかった芦屋市での確認例を報告している。

[撮影データ] 芦屋市山芦屋町 : 1 個体撮影, 2017年6月10日. 生態写真1点あり。

また、「京阪神でも広く分布拡大している可能性があり、今後の動向には注意していきたい。」としている。

「NPO 法人子どもとむしの会」メーリングリストに寄せられた兵庫県におけるキマダラカメムシの確認情報 (2013年)

現在 (2018年2月) から4年半ほど前の2013年9月に、「NPO 法人子どもとむしの会」のメーリングリスト (以下、ML とする) で、兵庫県内でのキマダラカメムシの確認情報の提供依頼が竹田真木生先生 (神戸大学) から発信された。その結果、6件の本種の情報を得ることができた。

これらの確認情報は、本種が兵庫県で初めて記録されてから2~5年目の情報であり、本種の分布拡大をみる上で有用なデータであると思われる。しかし、これらはメールに残されただけであり、文献への記録は行われなかった。そこでこの度、文献記録を補足するために、6件の確認情報を報告・記録することとした。

ML で得られた確認情報は以下のとおりである。データの配列順序は、本種の確認日が古いものから新しい順とした。データの内容は、「確認地名: 確認状況, 確認日, 確認者. 備考」の順に記載した。

- ① 姫路市延末 : 2 個体採集, 2010年11月13日, 八木剛. 中学校の校内での確認。
- ② 佐用郡佐用町船越 : 1 個体撮影, 2011年9月10日, 近藤伸一. 佐用町昆虫館の庭での確認。
- ③ 豊岡市城崎町桃島 : 1 個体目撃, 2013年8月8日, 片岡義方. 円山川沿いにある旅館の窓枠に静止している個体の確認。
- ④ 神戸市灘区六甲台町 : 1 個体採集, 2013年9月12日. 竹田真木生. 神戸大学の構内での確認。
- ⑤ 西宮市甲子園口 : 幼虫の写真, 2013年9月13日, 八木剛. 西宮市の小学校の中庭で捕獲された本種幼虫の写真の問い合わせがあった。
- ⑥ 神戸市東灘区 : よく見られる, 2013年9月時点, 八木剛。

文献記録と ML に寄せられた確認情報 (2013年) による兵庫県におけるキマダラカメムシの分布のまとめ

文献記録と ML に寄せられた確認情報 (2013年) については、兵庫県の地図にプロットして示した (図1)。また、分布や生息状況の変遷について、以下にとりまと

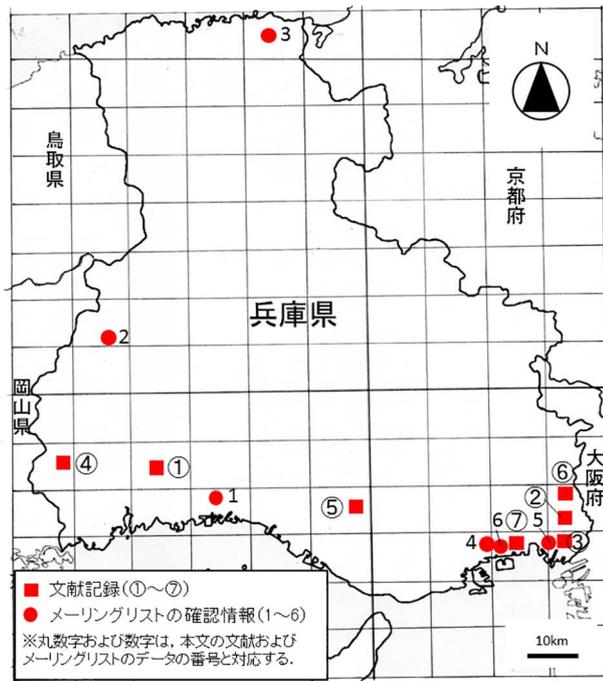


図1 文献記録とMLに寄せられた確認情報(2013年)による兵庫県におけるキマダラカメムシの分布図。

めた。

2008年に兵庫県の西側に位置するたつの市において、キマダラカメムシが本県から初めて記録された。ただし、この時点で多数の成虫に加えて幼虫も確認されており(佐藤, 2008), たつの市の市街地では、本種が既に定着していた可能性も考えられる。

2010年には、たつの市の東側に隣接する姫路市で成虫が確認される(ML情報の①)とともに、たつの市とは大きく離れた兵庫県南東部の伊丹市でも成虫が確認された(長島, 2016)。

2011年には、たつの市の西にある赤穂郡上郡町で成虫と幼虫が(森, 2013), 同じく北西にある佐用郡佐用町で成虫が確認された(ML情報の②)。また、伊丹市では、前年に初確認された本種が「普通に見られる」状況となっており(長島, 2016), 伊丹市の南側に隣接する尼崎市においても、成虫が9月から12月にわたって連続して確認される状況であった(夏秋, 2012)。なお、上記の佐用郡佐用町の記録は、兵庫県では最も内陸に位置する確認地点である。

2012年には、三木市で成虫が確認された(平野, 2013)。

2013年には、神戸市灘区で成虫が(ML情報の④), 川西市(下山, 2015)や西宮市(ML情報の⑤)で幼虫が確認され、神戸市東灘区では「よく見られる」状況となった(ML情報の⑥)。さらに兵庫県の最北に位置する豊岡市でも成虫が確認された(ML情報の③)。この記録は、兵庫県北部の唯一の記録であり、県内分布の

最北端となっている。

2017年には、芦屋市から報告された(長田, 2017)。

兵庫県における現在のキマダラカメムシの分布の推測

(1) 瀬戸内海側の市街地やその周辺では本種は広く分布しているものと推測

2008年に兵庫県で初めてキマダラカメムシが記録されてから10年近くが経過した。たつの市へ侵入は、当時、個体数と分布域を拡大させていた岡山県の個体群に由来する可能性が考えられる。岡山県では、2011年時点までのキマダラカメムシの分布拡大状況が詳細に調査されて報告されている(奥島ほか, 2012)。これによると2003年に県西部で初確認され、その後、2005年には岡山市、2006年には倉敷市において、いずれも市街地で記録された。これ以降、「爆発的とも言えるスピードで増殖、分布拡大」させて、侵入から8年後の2011年時点で、主に瀬戸内海側に位置する10市町で多数の記録が得られる状況となったことが記載されている。

なお、兵庫県での初確認に先だって、大阪府でキマダラカメムシの侵入が確認されている。2004年に大阪府南部の貝塚市で死体が確認され(岩崎, 2004), これが大阪府での初記録である。翌年の2005年には、大阪府東部の枚方市で成虫が確認されるとともに、枚方市の北東に隣接する京都府八幡市では成虫と幼虫が確認された(吉鶴・矢崎, 2005)。このことから、この時点で枚方市周辺では本種が定着していた可能性が考えられる。そのため、2010年の伊丹市への侵入は、たつの市や岡山県以西の個体群に由来する可能性と、大阪府～京都府の個体群に由来する可能性の両方が考えられる。

本種の分布拡大の要因については、大野(1995)は、「各種緑化木や苗木の移動、その他の物資の国内移動の頻度増大に支えられ、今後このカメムシは急速に分布域を拡大していくのではないかと考えられる。」と今から20年以上前に考察しており、奥島ほか(2012)も、「本種が街路樹や庭木に多用される樹木を好むことから、植栽樹木に取りついたらそのまま、あるいは植栽樹木のそばを通りがかっただけの車などによって非意図的ではあるが人為的に運ばれ、短期間での分布拡大が助長されている可能性がある。」と指摘している。このように、キマダラカメムシの各個体の飛行能力だけに依存しない移動が、本種の急速な分布拡大の要因の一つとなっているようである。

ところで兵庫県の瀬戸内海側地域は、市街地や工業地帯が連続して分布する地域であり、国道や高速道路などの幹線道路、鉄道路線が東西方向に複数敷設されている。これらを利用する車両や交通網によって移動する物資や人の移動量はかなり多く、これらに依存して本種が分布拡大している可能性は高いと推測される。そのため、

瀬戸内海側の市街地やその周辺では、現在は本種が広く分布しているものと推測される。

(2) 日本海側の地域では分布を拡大させつつあると推測
一方、兵庫県の日本海側については、本種の分布情報は豊岡市の1例 (ML 情報の③) があるだけである。

キマダラカメムシの日本海側への侵入は、既に広く分布していると推測される瀬戸内海側の地域から拡散してくるルートがまず考えられる。加えて、現在では兵庫県の西側の鳥取県においても本種が分布を拡大させつつある状況である。野津ほか (2014) によると、本種は、中国地方の瀬戸内地域ではごくポピュラーなカメムシになりつつあるが、島根県での状況から山陰地方ではまだ少ないとしているが、鳥取県でも2014年10月にJR伯備線の伯耆溝口駅 (筆者註：鳥取県の西部地域) で成虫と幼虫が初めて確認されたことが記載されている。その後鳥取県では、県東部の鳥取市で2015年に成虫が (松井, 2015)、県中部の倉吉市で2016年に成虫と幼虫が (田村, 2016) 確認されており、分布を拡大させつつあることがうかがえる。

豊岡市での本種の確認から4年半ほど経過していることや、上記の状況を考慮すると、兵庫県の日本海側の地域においても分布を拡大させつつある可能性があると思われる。ただし、瀬戸内海側の地域よりも本種の生息に適した市街地の分布が離散的になることや、物資や人の移動量が少ないことから、分布拡大の速度は速くはないと思われる。

(3) 淡路島は現状不明だが、既に侵入して分布を拡大させつつあると推測

淡路島については、文献記録やMLからは本種の分布情報を得ることができなかった。ただし、本土の瀬戸内海側の地域からは、明石海峡によって約4km隔てられているだけであり、本土と淡路島・四国を接続する高速道路もある。そして、島内では主に南北方向に幹線道路となる国道と高速道路が走っている。このことから、淡路島にも本種は侵入しており、分布を拡大させつつある可能性もあると思われる。なお、2014年6月には徳島県徳島市において本種の成虫が確認されている (山田・中西, 2014)。

謝辞

兵庫県におけるキマダラカメムシの文献の出版状況についてご教示頂いた長島聖大氏 (伊丹市昆虫館)、文献を恵与して頂いた森地重博氏と吉田浩史氏に厚くお礼申し上げます。また、MLに本種の情報提供依頼を最初に発信して下さった竹田真木生先生 (神戸大学)、確認情報を提供して頂いた、片岡義方氏・近藤伸一氏・八木

剛氏 (兵庫県立人と自然の博物館) に感謝致します。

引用文献

- 平野雅親, 2013. キマダラカメムシの分布拡大. 月刊むし, (509): 44.
- 岩崎 拓, 2004. 寄贈標本の紹介 高野晴一郎君が採集したキマダラカメムシ. 自然遊学館だより 2004 夏号, (32): 9.
- 松井悠樹, 2015. 鳥取市でキマダラカメムシを採集. ゆらぎあ, (33): 42.
- 森 正人, 2013. キマダラカメムシから分布拡散を考える. かんきょうかがくおおさかニュースレター n u e, (1): 1. (表紙ページ)
- 長島聖大, 2016. ー伊丹に定着ーキマダラカメムシ. いたこんニュース第26号, 13 (2): 4.
- 夏秋 優, 2012. 兵庫県尼崎市でのキマダラカメムシの記録. 大昆 Crude, (56): 41.
- 野津幸夫・中野一成・田村昭夫, 2014. 鳥取県に侵入したキマダラカメムシー伯耆溝口駅で採集ー. ゆらぎあ, (32): 46 - 49.
- 奥田恭介, 2017. 岐阜県でキマダラカメムシを確認. Rostria, (61): 67 - 68.
- 奥島雄一・近藤光宏・橋本響・末長晴輝・中野一成・脇本浩・山田勝, 2012. 2011年時点での岡山県におけるキマダラカメムシの発生状況. すずむし, (147): 37 - 47.
- 大野正男, 1995. 日本産主要動物の種別知見総覧 (37) キマダラカメムシ (1). 自然誌研究年報, (1): 81 - 97.
- 長田庸平, 2017. 兵庫県芦屋市におけるキマダラカメムシの記録. きべりはむし, 40(1): 40.
- 佐藤邦夫, 2008. キマダラカメムシを兵庫県で採集. 月刊むし, (454): 30 - 31.
- 下山 孝, 2015. 分布を広げるキマダラカメムシの生態. Nature Study, 61 (2): 2 - 4.
- 高井幹夫・石川 忠, 2012. カメムシ科. Family Pentatomidae Leach, 1815 Stink bugs. 石川 忠・高井幹夫・安永智秀編, 日本原色カメムシ図鑑 Terrestrial Heteropterans - 第3巻, pp. 466 - 497. 全国農村教育協会, 東京.
- 田村昭夫, 2016. 倉吉市でキマダラカメムシを採集. ゆらぎあ, (34): 15.
- 山田量崇・中西友章, 2014. 徳島県でキマダラカメムシを確認. Rostria, (57): 67 - 68.
- 安永智秀・高井幹夫・山下 泉・川村 満・川澤哲夫, 1993. 日本原色カメムシ図鑑ー陸生カメムシ類 Terrestrial Heteropterans - (友国雅章監修). (10) + 382pp. 全国農村教育協会, 東京.

- 矢崎充彦, 2012. 愛知県に侵入したキマダラカメムシ.
月刊むし, (491): 41 - 42.
- 吉鶴靖則・矢崎充彦, 2005. キマダラカメムシを関西
地方で確認. 月刊むし, (418): 25 - 26.

兵庫県のスナハラゴミムシ亜科

森 正人¹⁾

はじめに

今回は、兵庫県におけるスナハラゴミムシ亜科の記録を整理しておきたい。いつものとおり、掲載記録は種ごとに文献記録と標本記録に分け、文献記録については記載された県内の記録地名と出典情報を明記した。標本記録については、筆者の手許にある県内標本及び知人の採集記録のなかから、原則1産地1例とし、採集頭数・採集地・採集年月日を明記した。採集者については、筆者以外のものは採集者を明記し、筆者採集のものはこれを省略した。生息環境や生態情報、全国分布、基産地などについても知り得た範囲で記述した。

各種解説

スナハラゴミムシ亜科 Licininae

日本には2族3属が知られ、兵庫県産は次の2族2属に整理される。

スナハラゴミムシ族 Licinini

日本ではスナハラゴミムシ属とマルキバゴミムシ属 *Licinus* が知られ、兵庫県には前者が分布する。後者は北海道に2種が分布している。

スナハラゴミムシ属 Genus *Diplocheila*

中型から大型種を含む属で、日本では4種が知られている。県内にはこのうち以下の2種の記録がある。

1. スナハラゴミムシ *Diplocheila (Diplocheila) elongata* (Bates, 1873)

【文献記録】Hiogo [Bates, 1873]; 篠山浜谷 [高橋敏, 2012] .

本州、四国、九州に分布し、海外では中国から知られている。全国的に希な種類で、関東地方では比較的記録や採集事例が多いものの、近畿地方における情報は極めて少ない。近隣府県情報としては、水野・荒田 (2005) が京都府舞鶴市高野台での灯火採集の記録 (複数) を報じている。また八尋 (2000) は滋賀県の記録として大津市瀬田川を報告しているが、この記録は瀬田川河畔林の倒木下で筆者が得た1ペアである。生息環境は河川やため池周辺の水辺周辺で、冬季は土中で越冬成虫が見ら

れる。一見、オオゴミムシ *Lesticus magnus* に体型や大きさ、色彩が似ているが、大顎の形状や上翅翹端、上翅間室の孔点などに大きな違いがある。

2. オオスナハラゴミムシ *Diplocheila (Isorembus) zeelandica* (Redtenbacher, 1868)

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 豊岡, 出石 [高橋匡, 1982]; 南淡町沼島 [楠井善久, 1992]; 宝塚市安倉 [小田中健, 1993]; 洲本市安乎町, 三原郡沼島 [高橋寿郎, 1998]; 猪名川, 甲東園, 淡路島月山観音, 三田市羽束山, 川西一庫, 見野, 笹部, 大和, 洲本市先山 [高橋敏, 2012] .

【標本記録】1ex, 豊岡市神鍋高原, 13-VIII-2012; 1ex, 佐用町大撫山, 16-Jan-1989; 1ex, 宝塚市境野, 6-VII-2006; 1ex, 加古川市上荘町, 3-I-2009; 3exs, 神戸市藍那, 23-VII-2003; 2exs, 神戸市道場, 3-I-2005; 2exs, 神戸市山の街, 19-I-1977, 田中勇採集; 2exs, 南あわじ市沼島, 6-IV-2017; 2exs, 洲本市先山, 29-II-2000, 田中勇採集; 1ex, 三原町諭鶴羽山, 2-X-1999.

日本では北海道、本州、四国、九州、南西諸島に広く分布し、海外では台湾、朝鮮からも知られている。主として平地に多く、島嶼でもよく得られる。概して乾燥した環境に多く生息するようだが、林内環境で得られことも少なくない。北海道産で得られたものは大変小型、一方南方に向かうほど大きくなるようで、特に沖縄県産は驚くほど大型となる。

カタキバゴミムシ族 Badistrini

日本ではカタキバゴミムシ属が分布している。

カタキバゴミムシ属 Genus *Badister*

日本には6種が分布し、兵庫県ではこのうち3種の記録が確認された。

3. ヨツモンカタキバゴミムシ *Badister (Badister) pictus* Bates, 1873

【文献記録】氷上郡 [山本義丸, 1958]; 氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 但東町 [高橋匡, 1982] .

【標本記録】1ex (上翅のみ), 家島本島, 19-VIII-1989; 1ex, 豊岡市岩井, 12-X-2011.

¹⁾ Masato MORI 環境科学大阪 株式会社

大阪河内が原産で本州, 四国, 九州に分布している。北海道にも分布するとされていたが, これは Morita (2001) によって *B. sasajii* エゾタカキバゴミムシとして区別された。水辺で見られることが多いが, 採集例が少ないこともあって本来の生息環境が良くわからない。小菅 (1948) によると, 当時から希な種類のように, 巨椋池附近の崖などで冬季採集したことが記述されている。また後年, 京都府舞鶴では, 7 月末に小川の水際泥地の草刈り中に, 多数を発見できたことなども報告されており, 筆者の採集経験などからも, このような水辺の草間泥地が本来の生息環境であろうと考えている。本種はヨツモンキイロゴミムシと呼ばれていたことがある。

4. クロズカタキバゴミムシ *Badister (Baudia) nigriceps* Morawitz, 1863

【標本記録】3exs, 香美町ハチ北高原, 20-VIII-2012; 23exs, 宍粟市音水湖, 14-VIII-2010; 1ex, 青垣町佐治川, 10-VIII-1995; 1ex, 三原町上田池, 29-IX-2001; 1ex, 三原町成相林道, 18-X-2002.

原産地は函館。北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布している。本属のなかでは最も記録が多い種類だが, 産地で得られる個体数は概して少ない。唯一, 宍粟市音水湖の湖畔で本種が多数見られる場所があった (森, 2016) が, ここは沢水が浅く伏流して湖に注ぐような立地環境にあり, その伏流周辺の礫を掘ることで多くの個体が現れるような状況であった。時期によっては上翅の柔らかい新成虫が多いことがあり, 幼虫の生息環境でもある可能性がある。本属の種類は成虫の特殊な大顎の形状が, 食餌生物の種類と大きく関わっていると考え, 周囲に見られる生物を探索したがよくわからなかった。

5. チビカタキバゴミムシ *Badister (Baudia) nakayamai* Morita, 1992

【文献記録】日高 [高橋匡, 1982] (キベリカタキバとして記録)
【標本記録】1ex, 宝塚市佐曾利, 27-IV-1995.

原産地は東京。北海道, 本州, 四国に分布している。本種は従来 *Badister marginellus* Bates, 1873 キベリカタキバゴミムシとして扱われていたが, Morita (1992) によって新種として区別された。同時に和名も上記のとおり変更されている。関東地方では記録や採集記例が比較的多いが, 近畿では情報が少ない。

兵庫県におけるスナハラゴミムシ亜科の記録を整理したが, オオスナハラを除いて記録や情報が大変少なかった。この仲間は左右の大顎が非対称の種類が多く, 特殊な食性が示唆されているが, 食餌生物などの生態が解明されていないことが, 情報が少ない要因でもあろう。加藤 (2003) は北海道に生息するエサキマルキバゴミム

シ *Licinus yezoensis* (Sahlberg, 1880) が, その独特のアゴで上手にカタツムリの殻を破って食べることを報告しており, 今後非常に興味深いテーマが提供されている。

また, 近畿地方やその周辺には上記に記録したものの以外で, 古い記録しかない種類や不明なものがいくつか存在している。コスナハラゴミムシ *Diplocheila latifrons* (Dejean, 1831) は, 大阪から記録された (Betes, 1873) が, その後日本からの記録がまったくない。さらに, セスジカタキバゴミムシ *Badister (Baudia) vittatus* Bates, 1873 は大阪河内産の標本で記載され, その後 100 年間記録が無かったが, 比較的最近になって遠く北海道で記録されている (笠原・森, 1986; 堀, 2000)。フトキバスナハラゴミムシ *Diplocheila macromandibularis* (Habu et Tanaka, 1956) は富永 (1998) によって鳥取県岩坪から記録されているが, これについても詳しいことは不明である。いろいろと課題や楽しみの多いグループと言える。

最後に標本記録を提供頂いた田中勇さん (西宮市), 文献を御教授いただいた斎藤琢巳さん (尼崎市) 須田亨さん (群馬県伊勢崎市) に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- Bates, H. W., 1873. On the Geodephagos Coleoptera of Japan. Trans. Ent. Spc. London, Part II :219-322.
- Habu, A., 1956. On the Species of *Diplocheila* (Coleoptera, Carabidae) and its Allied Genera of Japan. Bull. Nat. Inst. Agr. Sci. C, No. 6:49-73.
- 堀繁久, 2000. ホソモリヒラタゴミムシとセスジカタキバゴミムシの記録. *jezoensis* (27):115-116.
- 笠原須磨生・森正人, 1986. 日本産歩行虫ノート II : 北海道で再発見されたセスジカタキバゴミムシ. 甲虫ニュース, (73):1-2.
- 加藤敏行, 2003. カタツムリを食べるエサキマルキバゴミムシ. ゴミムシ, 知床の昆虫, 北海道新聞社: 141-144.
- 岸田剛二・辻啓介, 1975. 兵庫県多紀郡篠山町附近の歩行虫. *きべりはむし*, 4(1/2):16-25.
- 小菅謙蔵, 1948. ヨツモンカタキバゴミムシ. 昆虫の採集, 富書店: 185-186.
- 楠井善久, 1992. 沼島の甲虫採集記録. 南紀生物, 34(2):103-104.
- 水野弘造・荒田弥五郎, 2005. 荒田家 (京都府舞鶴市高野台) の邸宅内で採集された甲虫類の目録. 地域甲虫自然史第 1 号, 日本甲虫学会, 93pp.
- 森正人, 2016. 兵庫県のゴミムシ—最近の話題. 第 7 回日本甲虫学会大会ゴミムシ分科会講演資料.

Morita, S., 2001. A Revision of the Japanese species of the subgenus *Badister* (Coleoptera). Spec. Publ. Japan Coleopt. Soc. Osaka, (1):381-388.

Morita, S., 1992. Occurrence of a New *Badister* (Coleoptera, Carabidae) in Tokyo Japan. *Elytra*, 20(2):155-159.

小田中健, 1993. 宝塚の昆虫Ⅱ 甲虫目 (I), 宝塚市.

高橋寿郎, 1998. 淡路島産甲虫目録 (1). *PARNASSIUS*, 47:1-9.

高橋敏, 2012. ゴミムシ類C . 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 (2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録, (44);57-170.

高橋匡, 1982. 但馬地方昆虫目録 (予報第 7 報). *IRATSUME*, 6:57-76.

富永修, 1998. mt-DNA 分析用に得た中国地方のオサムシの記録. *すかしば* (46):13-17.

八尋克郎, 2000. 森正人氏によって採集された滋賀県産ゴミムシ類. *Come 虫*, 158:6-9.

山本義丸, 1958. 兵庫県氷上郡昆虫目録, 氷上の自然第 3 集. 兵庫県立柏原高等学校生物教室.



1. スナハラゴミムシ



2. オオスナハラゴミムシ



3. ヨツモンカタキバゴミムシ



4. クロズカタキバゴミムシ



5. チビカタキバゴミムシ

故・小林平一氏採集のゴミムシ標本について

森 正人¹⁾

小林平一氏 (1923 - 2002) は蝶や鳥の著名な収集家としてよく知られており, その主要なコレクションは, 氏の没後にご遺族によって姫路科学館に納められている。小林氏は, 特にトリバネアゲハのコレクターとして世界的に有名で, 姫路科学館が刊行した収蔵資料目録 (2014, 2015) によると, その数は3属34種145亜種8,506頭に及んでおり, 量的には大英博物館を凌駕するとも言われている。また, 小林氏自身が記載された亜種のHolotypeやParatypeも多く含まれ, 質的にも大変に優れたコレクションと評価されている。トリバネアゲハ以外の昆虫コレクションの量も膨大であるが, これらは順次整理されており, 毎年その成果が目録として刊行されている。また同時にGIBF (The Global Biodiversity Information Facility: 地球規模生物多様性情報機構) に登録され, 世界中に公表され, データが閲覧できる状況にある。

筆者はここ数年間, 姫路科学館において小林コレクションの整理業務に関わっているが, この度, 小林氏のご自宅に保管されていた古い標本を拝見する機会があり, そのなかから小林平一氏が若い頃に採集されたと思われるゴミムシ類標本を恵与された (図1)。この標本は紙製一部ガラス張の古い標本箱に納められたもので, 激しく虫害をうけてはいるが, 同定可能なものも多く, また氏の直筆によるとと思われる丁寧な採集ラベルが添付されている。ほとんどの標本は, ご自宅のある兵庫県神崎郡船津村大沢 (現在の姫路市船津町) 周辺の採集であり, 一部, 現在において記録の少ない種類が含まれていることから, これらについて記録しておきたい。なお, 採集者について, 「CLK」は小林平一氏自身の採集であり, 「平二」は平一氏の弟さんのお名前 (小林平二氏) であることがわかっているが, ここではラベル表記通りに転記した。

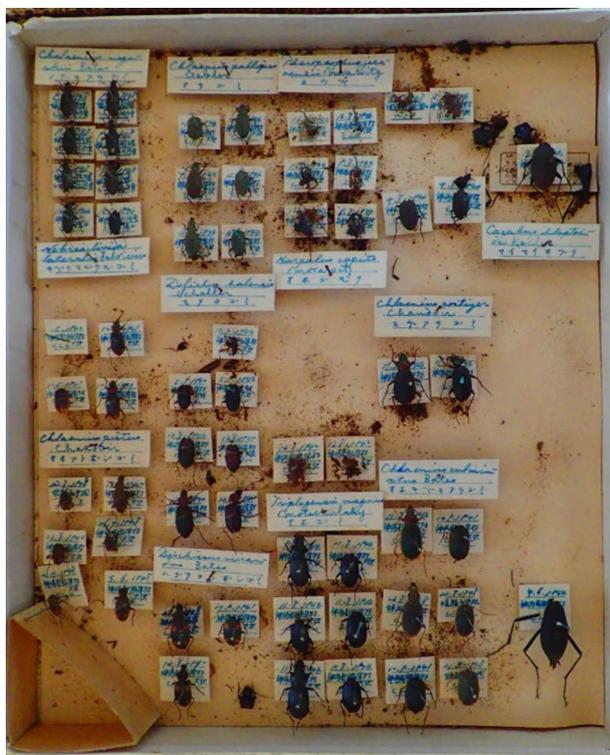


図1 小林平一氏採集のゴミムシ標本の一部。

1. セアカオサムシ *Carabus (Hemicarabus) tuberculosus* Dejean et Boisduval, 1829

2exs, 神崎郡船津村大沢, 1942年8月中, CLK (図2)

草地～草原性のオサムシで, 県内では六甲山やハチ高原などの記録がある。現在でも兵庫県中央部の砥峰高原やハチ高原などに生息しているが, 県南部における生息情報はほとんどない。

2. キベリマルクビゴミムシ *Nebria (Paranebria) livida angulata* Benniger, 1949

1ex, 神崎郡船津村大沢, 1940年5月, CLK; 2exs, 同所, 1941年5月10日, CLK; 1ex, 同所, 1947年10月10日, 平二。(図3)

本種はかつて全国的にごく普通に生息していたが, 近年急速に減少し, 今ではほとんど見られなくなった種類である。普通種であった故に記録や標本が余り残されておらず, また減少要因もよくわかっていない。生息環境も十分に把握されておらず, 河川水辺で見られることもあるが, むしろ耕作地周辺に多い印象がある。

¹⁾ Masato MORI 環境科学大阪 株式会社



図2 セアカオサムシ.



図3 キベリマルクビゴミムシ.



図4 オオヨツボシゴミムシ.



図5 オオキベリアオゴミムシ.



図6 コアトワアオゴミムシ.

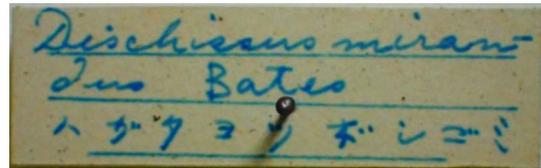


図7 「ハガタヨツボシゴミムシ」ラベル.

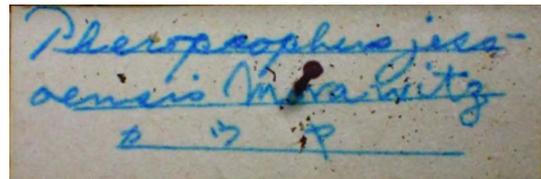


図8 「カウヤ」ラベル.

3. オオヨツボシゴミムシ *Dischissus mirandus* Bates, 1873

1ex, 神崎郡船津村大沢, 1940年8月12日, CLK; 1ex, 同所, 1941年9月17日, CLK; 1ex, 同所, 1948年8月25日, CLK. (図4)
 兵庫県での記録は少なく, 森 (2017) は神戸市や芦屋市, 川西市, 氷上郡などの記録を整理し, 自身採集の姫路市内における記録を公表している. 冬季は土中や朽ち木で成虫越冬するので, 狙って採集しやすいが, 上記標本のデータは8~9月の活動期のもので, どのような状況で採集されたものか興味がある. 小林氏の標本には「ハガタヨツボシゴミ」の種名ラベルが添付されており (図7), これは小菅 (1948) でも使用されている古い呼称である. ここでは, 斑紋の形が人の歯の形に似ている事が記述されている.

4. オオキベリアオゴミムシ *Chlaenius (Epomis) nigricans* (Wiedemann, 1821)

2exs, 神崎郡船津村大沢, 1941年9月10日, CLK; 2exs, 同所, 1944年8月11日, CLK; 1ex, 同所, 1944年8月18日, CLK; 3exs, 姫路市中地, 1948年8月23日, CLK. (図5)
 特殊な生態をもつ種類で, 成虫・幼虫ともカエル類

を捕食することが報告されている (平井: 2006, 三宅: 2008 など). 従って, 水田や湿地, 溜池周辺などのカエルの多い環境に生息しており, 当時の船津村周辺にはそのような良好な環境が広がっていたと思われる. なお, 記録地の「中地」とは, 姫路市内の手柄山南に位置する旨を, ご遺族の三船美枝さんから教えて頂いた. また, 当時のメモが残っていて, 「誘蛾燈に集まった虫を, 臭い思いをしてより分けた」とあり, おそらく水田に設置された害虫対策用の設備で採集されたものと思われる. 現在は住宅が建ち並ぶ市街地で, 環境は当時とは大きく変わっているようだ. 森 (2013) は県内における本種の記録を整理したが, 最近ではほとんど見られなくなっている.

5. コアトワアオゴミムシ *Chlaenius (Spilochlaenius) hamifer* (Fabricius, 1792)

1ex, 姫路市中地, 1948年8月22日, CLK. (図6)
 本種の小林標本は虫害が激しく, 上翅と胸部の一部, 腹部しか残されていなかったが, 上翅の色彩や斑紋の特徴によって本種と判断できた. これも前種と同じく姫路市内の採集である. 現在でも大変に少ない種類で, 森

(2013) は加西市と上郡町を兵庫県初記録として報告している。

なお、この標本箱には「カウヤ」と書かれた種名ラベルがある(図8)。これは、今のミイデラゴミムシの古い呼び方である。八尋(2004)によれば、古く「和漢三才図会」(1712)に「行夜(こうや)」別名「へひりむし」と書かれて登場しているようで、その後、ミイデラハンメウやミイデラコウヤなどの呼称変遷を経て、「日本昆虫図鑑」(横山桐郎, 1932)で初めて現在のミイデラゴミムシが新称されたとしている。

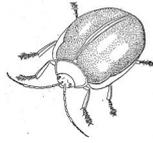
先人の残した古い標本は、今では見られなくなった貴重な実物を見られると同時に、その頃に使われていた古い呼称に直接触れることの出来る貴重な出会いもあった。

このような貴重な機会を与えて頂き、こころよく公表のご了解を頂いたご遺族の三船美枝さん、小林義一さん、及び標本の存在を教えて頂いた熊代直生さんに厚くお礼申し上げます。

参考文献

- 森正人, 2017. 兵庫県のヨツボシゴミムシ亜科. きべりはむし, 40(1):31-33.
- 森正人, 2013. 兵庫県のアオゴミムシ類. きべりはむし, 35(2):16-23.
- 相樂充紀・森正人・北山健司, 2015. 姫路科学館収蔵資料目録第4号 小林平一コレクション昆虫編2 トリバネアゲハ類(2):97pp.
- 相樂充紀・森正人・北山健司, 2014. 姫路科学館収蔵資料目録第3号 小林平一コレクション昆虫編1 トリバネアゲハ類(1):89pp.
- 八尋克郎, 2004. ミイデラゴミムシの語源. 地表性甲虫談話会会報, (1):2-6.

たんぽう



兵庫県加古川市でイシガケチョウを採集

山本 司

筆者は 2017 年 9 月 17 日加古川市内において、イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella* を採集しているので報告する。

加古川市内においての、イシガケチョウの記録については、「竹内隆・島崎正美, 2016. きべりはむし 39(1): 19-21」に詳細な記載があり、それを参考に探索したところ、加古川市平荘町の平荘湖周辺で、葉上に開翅して静止しているイシガケチョウを 1 頭発見し、採集した。

採集した個体は、左後翅に破損があるが、それ以外は比較的綺麗な個体である。

なお、この日に発見できた個体は、この 1 頭のみであったが、採集した日の 1 週間前にも同地で、イシガケチョウが地面に開翅して静止している姿を目撃している。採集した個体と同一個体かは不明であるが、左後翅の破損は無かった。

今後、加古川市内でのイシガケチョウの発生について、注目していきたい。



兵庫県加古川市平荘町, 17. IX .2017, 筆者採集保管

○参考文献

竹内隆, 島崎正美 2016, きべりはむし 39(1), 19-21

(Tsukasa YAMAMOTO 兵庫県加古川市)

兵庫県加古川市でアシナガモモトスカシバを確認

柴田 剛

筆者は、加古川水系の上流から河口までと、主要な支流を対象に昆虫や植物の写真撮影を行っているが、加古川下流の河川敷（加古川市八幡町）でアシナガモモトスカシバ *Macroscelesia longipes yamatoensis* を写真撮影するとともに、採集することができたので報告する。

本種は、幼虫がゴキヅルという水辺に生えるつる植物に虫エイをつくって生育するものであり、ゴキヅルが近年減少していることから生息地がかなり限られているようで、国のレッドデータブックでは「絶滅危惧Ⅱ類」になっている。

最初に見たときは変なアブがいるなと思ったが、採集用具を持っていなかったので写真撮影し、帰って確認したところ本種であることが分かった。

その後も、同じ場所に写真撮影に行くたびに目撃するがなかなか採集できず、何度目かに出会ったときによりやく採集できたものである。

【撮影・採集データ】

25. VI .2017 写真撮影

28. VI .2017 写真撮影 (図)

9. VII .2017 写真撮影

16. VII .2017 写真撮影・採集



(Takeshi SHIBATA 兵庫県明石市)

兵庫県福崎町でクロバネフユシャクを発見

坪田 瑛

クロバネフユシャク (*Alsophila foedata*) は以前は関東から東北地方と対馬で生息が確認されているとされていた (江崎ら, 1999)。しかしながら近年になって中部東海, 九州, 四国地方でも記録されるようになってきているが, その中で近畿地方ではいまだ未確認となっているようだ (中島・小林, 2017)。

筆者は約3年前の2014年1月10日に兵庫県福崎町東田原地区の里山で本種を発見し写真に収めているのでここに報告する。

当該地区の日光寺山の山裾に沿って林道が東側から北側まで伸びているのであるが, 当日の午後3時頃にその林道を散歩がてらに歩いていると道端に生えている草むらのシダの葉の上に黒っぽいガが止まっているのに気が付いた。このガはもしかして図鑑でしか見ていないクロバネフユシャクではないかと思いながら写真撮影したのである。その時に撮影した写真が図1および2である。当時はクロバネフユシャクは関東から東北地方に分布しているガであると記憶していたために兵庫県の西播地区にいるなんて俄かに信じられなかった。



図1 福崎町のクロバネフユシャク 著者撮影。



図2 福崎町のクロバネフユシャク 著者撮影。

クロバネフユシャクが近畿地方を除いて東北から四国九州地方まで分布が確認されているのに近畿地方だけ未確認であるというのは不思議なことであり, これで近畿にも分布することが確認することができた。

○参考文献

江崎悌三ら, 1999. 改訂新版9刷 原色日本蛾類図鑑 (上). 保育社, p.164

中島秀雄・小林秀紀, 2017. 月刊むし・昆虫図説シリーズ11 日本の冬尺蛾. むし社, p.63

(Teru TSUBOTA 兵庫県神崎郡市川町)

ムネアカセンチコガネの採集例

久保弘幸

筆者は2017年にムネアカセンチコガネ *Bolbocerosoma nigroplagiatum* 1♀を採集しているので, 分布記録の一端としてここに報告する。

【採集データ】

採集年月日: 2017年8月

採集地: 宍粟市波賀町上野字上東山 (フォレストステーション波賀 キャンプ場)

採集時の状況: 早朝, キャンプ場の東屋床に静止中の個体を採集



(Hiroyuki KUBO 兵庫県明石市
兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会)

有馬富士公園におけるギングチバチ科 4 種の採集記録

上森教慈

記録の少ないギングチバチ科アリマキバチ亜科 Pemphredoninae のハチ 4 種を三田市有馬富士公園にて採集したので報告する。解説は寺山・須田, 2016 より抜粋。

1. シロシタイスカバチ *Passalocerus insignis* (Vander Linden, 1829)



1 ♀, 15. VII. 2017, 筆者採集

メスの体長は 5.5-6mm. 朽木に主に営巣し, アブラムシ類を狩る. 公園内の朽木に飛来したところを採集した. 県内からの記録は確認できなかった.

2. アバタアリマキバチ *Pemphredon dirrvillae* Iwata, 1933



1 ♂ 1 ♀, 15. VII. 2017, 筆者採集

体長 6-8mm. ウツギやニワトコ等の髓や枯れ木に営巣し, アブラムシを狩る. 公園内の朽木に飛来したところを採集した. 県内では神戸市北区藍那から記録がある (吉田, 2002).

3. コウライヨコバイバチ *Psen koreanus* Tsuneki, 1959



1 ♀, 15. VII. 2017, 筆者採集

メスの体長は 12-14mm と大型. 有馬富士へ登る途中の小道をスウィープすることで得られた. 県内からの記録は確認できなかった.

4. ヤマトマエダテバチ *Psenulus pallipes* (Panzer, 1798)



4 ♀, 15. VII. 2017, 筆者採集

体長 5.5mm. 本州では普通種である. ススキの枯れ茎などに営巣し, アリマキを狩る. 有馬富士へ登る途中の小道をスウィープすることで得られた. 県内では氷ノ山から記録がある (常木, 1969).

いずれのハチも体サイズが小さく黒色で野外では目立たないため, 一般には報告されにくいと考えられる.

○引用文献

- 常木勝次, 1969. 氷の山のアナバチ科追加. 生物研究 (福井), 13 (3/4): 64.
寺山 守・須田博久 (編), 2016. 日本産有剣ハチ類図鑑. v-xxxvi + 735pp. 東海大学出版部. 神奈川.
吉田浩史, 2002. 神戸市北区藍那のハチ類相 (2) 有剣類. きべりはむし, 30 (2): 44-45.

(Kazushige UEMORI 九州大学農学部)

兵庫県内の注目すべき昆虫の写真撮影による確認

柴田 剛

1. スナアカネ *Sympetrum fonscolombii*

明石川の河川敷を下流から河口まで散歩しながら動植物の写真撮影をしていたとき、スナアカネを撮影することができた。

4. X .2017 ♂♀ 明石市大観町（明石川河川敷）



図1 スナアカネ♂ 4. X. 2017 筆者撮影



図2 スナアカネ♀ 4. X. 2017 筆者撮影

2. アイヌハンミョウ *Cicindela gemmata aino*

加古川流域で植物と昆虫の写真撮影を行っており、その中で加古川支流の篠山川の河原でアイヌハンミョウの写真撮影している。



図3 アイヌハンミョウ 8. V. 2016 筆者撮影

丹波地域では初めての確認であり、加古川水系では多可町加美区（杉原川河川敷）に次いで2か所目になるが、多可町の確認場所については最近の3年間は確認できていない。

8. V .2016 丹波市山南町（川代溪谷）

21. V .2017 丹波市山南町（川代溪谷）

3. キマダラカメムシ *Erthesina fullo*

これまで明石市内や加古川流域で昆虫の写真撮影を行ってきたが、2017年になって初めて明石公園でキマダラカメムシに気が付いた。

その後、三木市と小野市で確認し、写真を撮影することができた。

27. VIII .2017 明石市（明石公園）

31. VIII .2017 三木市別所町（美囊川の堤防）

31. VIII .2017 小野市黍田町（加古川上流浄化センター）

4. X .2017 明石市大観町（明石川の堤防）



図4 キマダラカメムシ 31. VIII. 2017, 小野市 筆者撮影

(Takeshi SHIBATA 兵庫県明石市)

キマダラカメムシの越冬場所

久保弘幸

キマダラカメムシ (*Erthesina fullo*) の越冬状況を確認したので、事例として報告する。本種は近年分布を拡大させているが、東南アジアを原産とする外来種である。越冬は本例のような人為的な空間だけでなく、野外では樹皮下などが利用されるものと推測される。なお同地では、エノキへの産卵も確認している。

確認場所：加古郡播磨町大中

確認年月日：2018年2月21日

越冬場所の状況：エノキの幹に掲示された樹名板と幹の間の空間に静止していた



図1 キマダラカメムシが越冬していたエノキ



図2 越冬していたキマダラカメムシ

(Hiroyuki KUBO 兵庫県明石市
兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会)

きべりはむし 投稿案内

1. 内容

「きべりはむし」は、老若男女を問わず、昆虫に関心のある読者を対象とし、兵庫県ならびに地域の昆虫相、昆虫の採集・観察・飼育の記録や方法、昆虫学の解説、昆虫を題材とした教育や地域づくりに関する記録や方法などの、未発表の報文を掲載します。

2. 編集・発行

「きべりはむし」は、兵庫昆虫同好会の機関誌ではなく、独立した雑誌とし、「きべりはむし編集委員会」が編集し、「兵庫昆虫同好会」と「NPO 法人こどもとむしの会」が共同で発行します。巻号は、兵庫昆虫同好会発行の「きべりはむし」の継続とします。

3. 著作権

掲載報文の著作権は、「NPO 法人こどもとむしの会」に帰属するものとします。

4. 体裁・媒体

本誌の判型は A4 判とし、横書き 2 段組とします。本誌は、Adobe PDF 形式による電子ファイルとして出版し、データは「NPO 法人こどもとむしの会」の web サイト (<http://www.konchukan.net/kiberihamushi>) からダウンロードできるものとします。また、紙媒体による印刷物を別途製作し、希望者に時価で頒布します。

5. 投稿者

本誌への投稿者には特に制限を設けません。

6. 原稿提出時のお願い

原稿は、原則としてデジタルデータでおねがいします。以下を参考に、文字部分と、図や表の部分は別々のファイルとして提出ください。従来通りの紙原稿でも受付しますので、ふるって投稿ください。

1) 文字部分

図表以外の部分と図表のキャプションは、1つのファイルとして、リッチテキスト形式 (.rtf) で保存してください。ゴシック体、イタリック体などの書体も指定ください。原稿は、一般に、表題、著者、要旨、本文、謝辞、文献で構成します。本文が数ページに及ぶ報文の場合は、本文の前に 400 字以内程度の要旨をつけることも可能です。文献、ホームページの引用は、一般的な学術雑誌の例にならってください。

2) 図表

それぞれの図表ごとに別々のファイルとして作成し、.jpeg, .psd, .pdf などの形式で保存してください。また画像データにつきましては可能な限り、高解像度での保存をお願いします。図表の幅は、1 段または 2 段分となります。原則として、単純な拡大縮小以外は行わず、そのまま印刷に供しますので、図表中の文字サイズは、刷り上がり大きさを考えて適切に設定してください。また、写真のトリミングは、適切にトリミングしたものを提出してください。著者以外が作成した地図や、人物が写っている写真を用いる場合は、事前に、著作権者や本人の承諾を得ておいてください。

7. 原稿送付先

きべりはむし編集委員会 kiberihamushi@konchukan.net
〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学農学部昆虫科学研究室
NPO 法人こどもとむしの会 事務局

8. 原稿の修正, 採否等

編集委員会は, 内容や文言の修正を著者に求めることがあります. また趣旨に合わない原稿は掲載をお断りすることがあります.

9. 投稿者, 原稿内容に関する問い合わせ

個人情報保護の観点から, 投稿者個人の連絡先は明記しておりません. お問い合わせ等につきましては
きべりはむし編集委員会メールアドレス kiberihamushi@konchukan.net, もしくは
〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学農学部昆虫科学研究室
NPO 法人こどもとむしの会 事務局 までお願いいたします.

10. ISSN について

きべりはむしは第 32 巻第 2 号からオンラインジャーナルの PDF 版が正式版となりました. これに伴い, ISSN(国際標準逐次刊行物番号 :International Standard Serial Number) を取得しました. ISSN とは, 雑誌などの逐次刊行物の情報を識別するための国際的なコード番号です.

・参考 web サイト

ISSN 日本センター : <http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/issn.html>

編集後記

○去る 2018 年 1 月 27 日、NPO 法人こどもとむしの会副理事長の三木 進さんが亡くなりました。佐用町昆虫館の運営に精力的に活躍されていた矢先のことで、未だに実感がわきません。箕面公園昆虫館にと飼育されていたヤマトオサムシダマシの生体を送っていただいたのが最後のやりとりとなってしまいました。まだまだ教えていただきたいことが沢山あったのに残念でなりません。心からご冥福をお祈りいたします。

○次号第 41 巻第 1 号は 2018 年 12 月末の発行の予定です。皆様の投稿お待ちしております。

(編集長 中峰 空)

きべりはむし 第 40 巻 第 2 号

2018 年 3 月 25 日 発行

編 集 きべりはむし編集委員会

発 行 兵庫昆虫同好会・NPO 法人こどもとむしの会

事務局 きべりはむし編集委員会 kiberihamushi@konchukan.net
〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学農学部昆虫科学研究室
NPO 法人こどもとむしの会 事務局気付

きべりはむし web サイト：<http://www.konchukan.net/kiberihamushi>

きべりはむし 第40巻 第2号 目次

【報 文】

みんなでつなぐ初蝶リレー 2017	久保弘幸	1-5
セミの初鳴き, 鳴きおさめの日 -みんなで調べよう 2017-	近藤伸一・永井英司	6-14
兵庫県におけるキマダラカメムシの分布	植田義輔	15-19
兵庫県のスナハラゴミムシ亜科	森 正人	20-22
故・小林平一氏のゴミムシ標本について	森 正人	23-25

【短 報】

兵庫県加古川市でイシガケチョウを採集	山本 司	26
兵庫県加古川市でアシナガモモボトスカシバを確認	柴田 剛	26
兵庫県福崎町でクロバネフユシヤクを発見	坪田 瑛	27
ムネアカセンチコガネの採集例	久保弘幸	27
有馬富士公園におけるギングチバチ科 4 種の採集記録	上村教慈	28
兵庫県内の注目すべき昆虫の写真撮影による確認	柴田 剛	29
キマダラカメムシの越冬場所	久保弘幸	30

投稿案内		31-32
------	--	-------

編集後記		33
------	--	----